

# 2020年度事業報告

## I 法人本部事務局

### 1 本部の機能強化及び施設の円滑かつ効率的な運営支援

#### (1) 新型コロナウイルス感染防止対策に関する取組みの統一化

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する法人対応指針を策定し、感染拡大状況に応じた職員の行動制限、入館者の制限や感染者が発生した場合の対応等を提示することによって、法人全体の感染拡大防止の取組みを統一した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する国、県、市からの通知や依頼の情報を法人全体で共有するように努めた。

#### (2) コンプライアンスの遵守及びガバナンスの強化

中期経営計画における重要取組課題の執行状況を的確に把握し、計画の着実な実行を図るため、上半期の達成状況と課題については9月の本部会議及び経営会議で、下半期については3月の本部会議及び経営会議において理事長に報告した。

また、定期的な内部監査として、各施設における文書管理、固定資産の計上、年休取得や休日出勤事前申請及び振替取得等の状況について重点的に調査し、適正な業務遂行を促した。

#### (3) 信頼と協力を得るための情報発信

法人の情報発信機能の強化を図るとともに、法人のイメージを新たなものとするため、法人のホームページを全面改訂した。また、昨年度に引き続き、年報（2019年度報告）を発行した。

#### (4) 業務効率の改善及び経費削減に向けた取組

昨年度に引き続き、施設ごとに年度内のコピー用紙の購入枚数を設定し、本部事務局が一括発注し配付することにより、ペーパーレス化に取り組んだ。

また、Web会議を積極的に導入することにより、本部会議を除いた各施設経営会議をWeb会議とすることで、業務効率の向上を図った。

#### <2020年度 コピー用紙使用状況>

2019年度	1,825,000枚
2020年度	1,790,000枚
2019—2020	35,000枚

#### <Web会議開催状況>

年 度	業者選定委員会	経営会議	計
2019年度	13回	0回	13回
2020年度	11回	37回	48回

#### (5) 施設視察会の実施

計画していた役員を対象とした県内の重心施設等の施設見学会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

## 2 健全な財務規律の確立及び業務改善の推進

### (1) 効率的な経理業務の標準化

事業規模の拡大に対応した利便的な運用を図るため、小口現金の取扱い額を見直した（1万円→3万円）。

### (2) 経営に役立つ経営指標の提供

経営状況の大きな変動要因となる人件費について、今後の5年間(2021～2025年度)の推移を算出し、中長期的な経営分析を行った。

### (3) 業務改革

申告・納税業務のオンライン化を早期導入し、金融機関に赴いて納付する時間や、郵便料等の経費削減を図った。

### (4) 総合相談センター構想

相談事業の集約化や専門化によって機能強化を図るため、法人内に検討プロジェクトを設置して、「総合相談センター（仮称）」の開設に向けた検討を継続している。

### (5) 契約手続きの適正化及び効率化

物品調達や業務委託等の契約の適正化及び効率化を図るため、業者選定委員会及び機種選定委員会のあり方を見直すとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年2月に新たに郵便入札制度を導入した。

## 3 質の高い人材の確保・育成及び効率的な人事管理の推進

### (1) 新業務実績評価制度の実施準備

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通常の事業実施体制の見通しが立たなかったため、本格実施を1年延期し、新業務実績評価制度に対する職員の理解を進めるため、7月から動画による研修を全4回実施した。

### (2) 適正な人事・労務管理制度等の運用

2020年4月1日付で全部改正した就業規則、給与規程、非常勤職員就業規則等に基づき、新たな人事・労務・給与制度の適正な運用を進めた。

また、超過勤務の抑制や年次有給休暇の取得促進、ハラスメント対策など、ワークライフバランスの推進と職場環境の維持・向上に取り組んだ。

その他、職員の兼業、職務に専念する義務の免除について見直しを行った。

### (3) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナ感染症まん延防止に伴い、子を養育する職員の支援等を目的として、4月から自主研修制度と時差出勤等の柔軟な勤務体制を導入し、国・県・市の感染状況ステージに応じて運用した。あわせて、計画休業に関する雇用調整助成金1,200万円の交付を受けた。

### (4) 新人事管理システムの運用開始

5月から新人事管理システムを本格稼働させた。データ入力・更新を日常的に行うことにより、各施設も含めて、職員の基礎データの確認や各種統計資料の作成等の作業の効率化が進んだ。

(5) 職員の採用・研修

年度当初は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、採用活動の一時中断や新採用職員研修の中止を余儀なくされたが、第1回目の緊急事態宣言解除後、採用活動を再開し、看護師、薬剤師等の必要な人材の確保を進めた。また、職員研修についても、動画研修やeラーニングの導入に向け検討・準備を進めた。

2020年度中の職員の採用・退職の状況、及び2021年4月1日現在の職種別職員の状況は以下のとおり。

<2020年度 職員の採用・退職の状況>

雇用形態	職種	採用	退職
常勤・ 限定常勤	看護師	30(13)	21
	生活支援員	20(8)	27
	その他職種	21(11)	16
	計	71(32)	64
非常勤		47(11)	38
合計		118(43)	102

( )内は内数で4/1採用者

<職種別職員の状況 2021年4月1日現在>

職種	人数	職種	人数	職種	人数
看護師	188	言語聴覚士	14	事務当直員	11
准看護師	2	臨床心理士	12	洗濯員	10
生活支援員	231	音楽療法士	1	清掃員	5
医師	61	管理栄養士	6	事務クラーク	6
歯科医師	16	福祉相談員	24	看護助手	21
薬剤師	8	保育士	40	生活支援員補助	2
診療放射線技師	4	児童指導員	5	登録ヘルパー	12
臨床検査技師	4	事務員	51	調理員	2
理学療法士	25	受付事務員	2	歯科衛生士	6
作業療法士	16	運転員	23	計	808

※限定常勤及び非常勤の職員を含む

## II 横浜医療福祉センター港南運営事業

新型コロナウイルス感染拡大やこれに係る緊急事態宣言の発出等により、短期入所事業及び外来診療に大きな影響が生じた。また、長期入所事業では2名の逝去による退所があった。

短期入所は、1E棟以外でも受け入れる計画だったが、ゾーニングの観点から1E棟のみの運営としたため、1日当たりの入所者数は目標値の70.8%となった。外来診療は、密集を避けるため、非対面診療（電話診療）や診察エリアの環境整備等を実施したが、1日当たりの外来者数は目標値の81.6%に留まった。長期入所については、上半期は外泊や他院への入院が減少したことによって目標を上回る実績となったが、下半期に他の医療機関への入院や逝去による退所があったため、通年では目標値の100.2%となった。

ボランティア活動（理美容及び裁縫ボランティアについては6月以降に再開）、地域交流行事、センター講座「とちのき講座」はすべて中止した。

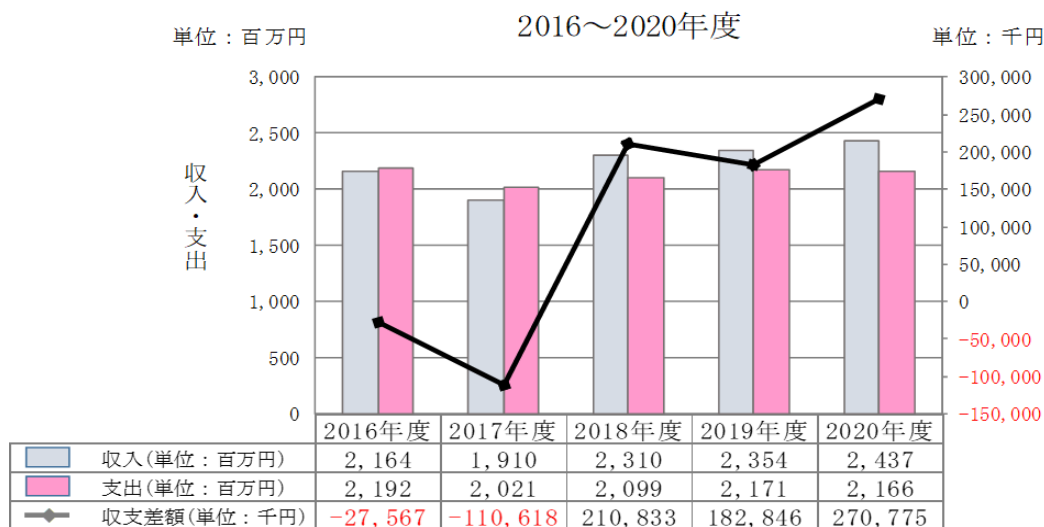
5棟目の開棟について、2022年4月の開棟に向けて、スケジュールや児童床の運用等について横浜市と調整した。また、2021年度事前雇用に関わる財政支援を要請した。

各部署の実績は以下のとおりである。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	117.6名/日	117.8名/日	100.2%
短期入所	9.6名/日	6.8名/日	70.8%
入院	0.5名/日	0.2名/日	40.0%
外来診療	110.0名/日	89.8名/日	81.6%

### 2 資金収支差額の推移



前年度に比べ長期入所者の医療ケア必要度が高くなり診療報酬が上昇したことや、新型コロナウイルス感染防止対策費に係る借入れや夏期賞与の0.5月分の削減により、収支差額は270,775千円で予算を上回った。

### 3 センター全体の実績

#### (1) 長期・短期・入院利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 (120床)	定数	3,600	3,720	3,600	3,720	3,720	3,600	3,720	3,600	3,720	3,720	3,360	3,720	43,800	43,920	99.7%
	実績数	3,529	3,660	3,553	3,704	3,720	3,600	3,679	3,529	3,621	3,618	3,238	3,560	43,011	43,157	99.7%
	1日平均	117.6	118.1	118.4	119.5	120.0	120.0	118.7	117.6	116.8	116.7	115.6	114.8	117.8	117.9	99.9%
	占床率	98.0%	98.4%	98.7%	99.6%	100.0%	100.0%	98.9%	98.0%	97.3%	97.3%	96.4%	95.7%	98.2%	98.3%	99.9%
短期 (6+α床)	定数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190	2,196	99.7%
	実績数	151	87	191	196	218	239	245	238	237	215	210	257	2,484	2,142	116.0%
	1日平均	5.0	2.8	6.4	6.3	7.0	8.0	7.9	7.9	7.6	6.9	7.5	8.3	6.8	5.9	115.3%
	占床率	83.9%	46.8%	106.1%	105.4%	117.2%	132.8%	131.7%	132.2%	127.4%	115.6%	125.0%	138.2%	113.4%	97.5%	116.3%
入院 (2床)	定数	60	62	60	62	62	62	62	60	62	62	56	62	730	732	99.7%
	実績数	25	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	216	28.2%
	1日平均	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	33.3%
	占床率	41.7%	58.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%	29.5%	28.5%
総合計 (128床)	定数	3,840	3,968	3,840	3,968	3,968	3,842	3,968	3,840	3,968	3,968	3,584	3,968	46,720	46,848	99.7%
	実績数	3,705	3,783	3,744	3,900	3,938	3,839	3,924	3,767	3,858	3,833	3,448	3,817	45,556	45,515	100.1%
	1日平均	123.4	122.1	124.8	125.8	127.0	128.0	126.6	125.6	124.5	123.6	123.1	123.1	124.8	124.4	100.3%
	占床率	96.4%	95.4%	97.5%	98.3%	99.2%	100.0%	98.9%	98.1%	97.2%	96.6%	96.2%	96.2%	97.5%	97.2%	100.3%

#### (2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	473	336	576	617	572	571	583	679	620	559	531	692	6,809	6,679	101.9%
耳鼻科	38	10	40	51	62	37	57	53	56	34	50	61	549	668	82.2%
リハビリテーション課	580	443	842	942	972	975	1,032	931	979	911	987	967	10,561	13,019	81.1%
整形外科	21	0	36	34	37	34	32	31	28	29	27	38	347	372	93.3%
皮膚科	5	4	13	8	7	8	4	6	10	6	5	5	81	105	77.1%
精神科	18	28	26	33	30	21	34	28	28	30	20	36	332	316	105.1%
歯科	110	83	181	173	155	155	157	164	152	133	123	190	1,776	2,726	65.2%
短期外来(9月より)	135	86	183	192	217	239	244	225	239	217	205	257	2,439	※	
外来者総数	1,380	990	1,897	2,050	2,052	2,040	2,143	2,117	2,112	1,919	1,948	2,246	22,894	24,796	92.3%
1日平均	62.7	52.1	82.5	93.2	97.7	97.1	93.2	105.9	100.6	96.0	102.5	93.6	89.8	98.0	91.6%

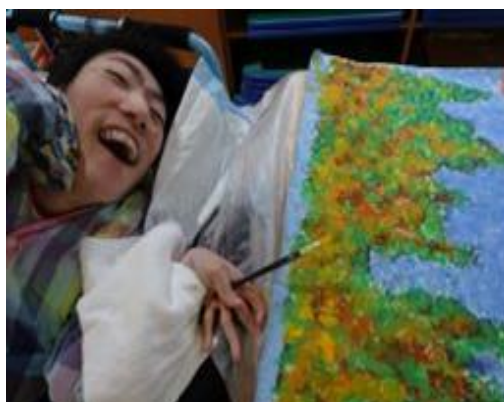
#### (3) 地域交流

##### ① ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	0	0	9	9	6	13	12	9	10	2	9	14	93	139	66.9%
活動延べ回数	0	0	3	6	3	7	10	5	7	1	6	9	57	470	12.1%

2020年2月より新型コロナウイルス感染症対策により、全ボランティア活動（理美容・アロマ含む）及びボランティア行事を中止した。6月より理美容（298名/年）の一部再開し継続している。7月より裁縫ボランティア（32名/年）も再開した。また、再開時に向けて、新たにボランティア活動希望者を仮登録した。（4件）



秋のオブジェプロジェクトの様子

## ②地域交流

新型コロナウイルス感染防止対策のため、ホールイベントは全て中止した。毎年活動しているボランティアや活動団体、地域の方々には、棟内イベントや裁縫ボランティア作成のクリスマス装飾の様子など、近況報告を郵送や電子メールによって配信した。

## 4 各部署の報告

### (1) 診療部門

医師については、新規採用者2名、育児休業からの復職者2名により、短期入所受け入れ等の診療体制を整えた。

外来診療は新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に診療継続を検討し、電話再診やクーリングタイム（環境整備）の実施、感染リスクが高い検査・診療の延期等によって対応した。外来診療数は目標値より18.4%減少した。

長期入所者は、合併症の併発や悪性腫瘍などの疾病が増加し、他院受診、入院や院内での疼痛管理などが増加した。今年度は2名の長期入所者が逝去された。

### (2) 診療支援部門

#### ①リハビリテーション課

##### ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	310	178	397	500	491	535	546	477	486	480	499	524	5,423	7,635	71.0%
	作業療法	180	113	245	282	323	283	217	194	220	213	217	217	2,704	6,095	44.4%
	言語聴覚療法	154	102	222	231	283	270	241	237	260	228	230	278	2,736	4,511	60.7%
	臨床心理	56	51	86	102	101	124	107	85	113	107	122	103	1,157	1,529	75.7%
入所	理学療法	227	261	278	242	164	180	186	148	162	202	189	175	2,414	3,587	67.3%
	作業療法	16	63	72	46	28	30	15	10	9	5	18	5	317	583	54.4%
	言語聴覚療法	71	121	164	112	71	104	117	67	84	73	77	82	1,143	948	120.6%
	臨床心理	6	58	58	48	40	49	49	41	42	44	30	35	500	499	100.2%
合計	理学療法	537	439	675	742	655	715	732	625	648	682	688	699	7,837	11,222	69.8%
	作業療法	196	176	317	328	351	313	232	204	229	218	235	222	3,021	6,678	45.2%
	言語聴覚療法	225	223	386	343	354	374	358	304	344	301	307	360	3,879	5,459	71.1%
	臨床心理	62	109	144	150	141	173	156	126	155	151	152	138	1,657	2,028	81.7%
	総合計	1,020	947	1,522	1,563	1,501	1,575	1,478	1,259	1,376	1,352	1,382	1,419	16,394	25,387	64.6%
	1日平均件数	46.4	49.8	66.2	71.0	71.5	75.0	64.3	63.0	65.5	67.6	72.7	59.1	64.3	102.3	62.8%

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	5	0	9	13	9	7	2	6	9	9	8	15	92	135	68.1%
作業療法	7	3	13	14	12	12	12	7	7	9	11	8	115	135	85.2%
言語聴覚療法	4	0	6	10	12	8	8	5	7	13	11	10	94	126	74.6%
臨床心理	6	1	11	11	11	11	11	5	10	8	9	7	101	110	91.8%
合計	22	4	39	48	44	38	33	23	33	39	39	40	402	506	79.4%

ウ スタッフの派遣

コロナの影響のため、外部派遣は中断している。

エ 職員数

- ・理学療法士 常勤 8名 非常勤 1名 (1名育休中) 1名退職 (10月末)
- ・作業療法士 常勤 4名 非常勤 1名 (2名育休中) 1名退職 (3月末)
- ・言語聴覚士 常勤 6名 1名退職 (3月末)
- ・臨床心理士 常勤 3名 非常勤 1名

4月の緊急事態宣言中の4/20~5/9、外来を縮小した。時間割を変更してクリーンタイムを確保し、一日7枠から5枠へ変更した。棟担当を、複数棟担当から1棟担当制とした。

②薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	12	33.3%
	処方件数	0	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8	23	34.8%
	調剤数	0	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8	26	30.8%
神経小児科	処方箋枚数	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	2	7	4	175.0%
	処方件数	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	3	12	7	171.4%
	調剤数	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	4	13	9	144.4%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	9	22.2%
	処方件数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	17	11.8%
	調剤数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	17	11.8%
内科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.0%
神経内科	処方箋枚数	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	2	9	23	39.1%
	処方件数	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	2	9	41	22.0%
	調剤数	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	2	9	44	20.5%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
精神科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-
救急外来	処方箋枚数	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	12	33.3%
	処方件数	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	29	24.1%
	調剤数	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	35	22.9%

入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	396	294	290	317	330	337	345	334	371	279	264	403	3,960	3,717	106.5%
	処方件数	1,758	1,163	948	1,025	1,204	1,091	1,160	1,153	861	971	747	1,456	13,537	13,126	103.1%
	調剤数	2,643	1,717	1,458	1,513	1,823	1,696	1,789	2,084	1,278	1,510	1,079	2,187	20,777	19,480	106.7%
2E棟	処方箋枚数	446	314	305	285	359	400	382	260	413	479	204	505	4,352	3,891	111.8%
	処方件数	1,473	1,069	1,039	783	1,120	1,168	921	772	1,133	1,552	304	1,546	12,880	12,300	104.7%
	調剤数	1,890	1,388	1,354	1,050	1,459	1,522	1,149	1,057	1,515	2,052	352	2,050	16,838	16,085	104.7%
2W棟	処方箋枚数	470	285	413	376	491	322	445	330	385	272	283	361	4,433	4,405	100.6%
	処方件数	1,391	1,055	1,345	1,302	1,809	767	1,671	937	1,133	816	899	1,238	14,363	14,540	98.8%
	調剤数	1,854	1,471	1,874	1,810	2,619	1,070	2,499	1,334	1,671	1,248	1,319	1,834	20,603	20,549	100.3%
3E棟	処方箋枚数	460	238	355	361	406	261	457	279	366	352	142	439	4,116	4,184	98.4%
	処方件数	1,445	479	970	1,012	1,266	558	1,533	813	1,072	1,450	240	1,504	12,342	12,236	100.9%
	調剤数	2,043	658	1,405	1,399	1,841	675	2,269	1,157	1,486	2,213	274	2,232	17,652	18,079	97.6%

イ 注射院内処方

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	35	53	42	139	90	81	93	106	98	75	105	58	975	1,020	95.6%
	処方件数	103	111	116	378	295	257	232	310	322	189	325	184	2,822	2,859	98.7%
	調剤数	156	153	161	557	450	379	339	456	502	283	471	274	4,181	4,242	98.6%
2E棟	処方箋枚数	8	4	44	49	1	45	103	107	60	67	16	50	554	445	124.5%
	処方件数	17	10	125	135	1	130	177	237	136	190	33	127	1,318	1,100	119.8%
	調剤数	26	15	182	184	1	195	229	336	197	265	43	181	1,854	1,551	119.5%
2W棟	処方箋枚数	73	53	77	26	59	75	74	89	41	41	24	34	666	536	124.3%
	処方件数	180	183	315	170	102	111	142	163	118	99	43	73	1,699	1,204	141.1%
	調剤数	268	265	481	273	125	138	189	219	169	139	61	89	2,416	1,653	146.2%
3E棟	処方箋枚数	67	21	55	56	85	38	58	98	38	39	21	52	628	434	144.7%
	処方件数	181	29	100	126	161	88	118	187	77	84	24	106	1,281	811	158.0%
	調剤数	270	39	145	191	213	123	155	264	91	114	24	159	1,788	1,064	168.0%

職員は、主に薬剤師（常勤3名、非常勤1名）と薬剤事務員（限定常勤1名）

常勤の薬剤師1名が6月に横療へ異動し、7～9月は非常勤1名によって対応した。

入所者の調剤業務については、前年度と比較して増加傾向にある。今後、欠員の補充に合わせ短期入所者の持参薬管理等も検討する。

③検査課

ア 院内検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	5	4	6	3	1	4	4	3	4	5	3	4	46	78	59.0%
血算	22	11	33	50	34	35	44	43	25	29	24	48	398	403	98.8%
電解質	16	8	21	40	29	25	33	37	20	23	22	46	320	316	101.3%
血中薬物濃度	14	8	13	42	32	20	20	26	15	25	18	42	275	253	108.7%
血液ガス分析	1	2	2	1	1	3	3	1	3	4	0	4	25	42	59.5%
尿定性	8	4	11	21	16	16	22	16	11	9	8	21	163	170	95.9%
尿沈渣	7	2	9	17	15	14	20	15	10	6	7	20	142	150	94.7%
迅速検査	0	2	0	2	0	0	3	1	10	4	0	3	25	78	32.1%
肝炎ウイルス検査	0	0	6	3	6	0	0	0	0	0	0	0	15	42	35.7%
心電図	0	0	1	2	5	0	4	3	1	1	0	2	19	20	95.0%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	0	—
脳波	4	2	7	11	13	7	13	9	5	7	5	15	98	125	78.4%
聴力検査	1	0	0	3	2	1	1	1	0	0	0	1	10	10	100.0%
超音波検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	50.0%
安静時代謝量測定	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—
合計	78	43	110	195	154	125	167	155	104	114	89	207	1541	1,689	91.24%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	99	58	119	89	104	95	102	117	98	96	68	79	1124	784	143.4%
血算	101	61	126	91	110	102	106	121	102	101	68	80	1169	841	139.0%
電解質	85	46	98	70	96	81	86	98	89	89	61	58	957	740	129.3%
血中薬物濃度	30	26	34	28	48	49	35	55	45	30	32	26	438	385	113.8%
血液ガス分析	48	35	81	62	74	65	65	70	87	59	57	48	751	476	157.8%
尿定性	33	20	46	30	28	35	36	30	34	35	30	25	382	361	105.8%
尿沈渣	30	16	41	26	22	29	27	24	28	25	26	22	316	314	100.6%
迅速検査	81	24	67	52	44	53	65	38	44	36	31	47	582	451	129.0%
肝炎ウイルス検査	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	10	40.0%
心電図	4	10	9	7	10	8	10	11	7	9	6	2	93	81	114.8%
心電図+CVRR	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	6	11	54.5%
脳波	3	0	3	6	4	8	2	4	6	2	4	3	45	43	104.7%
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
超音波検査	3	2	7	0	5	3	6	5	5	5	2	48	33	145.5%	
神経伝導速度測定	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	50.0%
合計	517	300	631	464	546	528	540	574	545	487	389	395	5916	4,532	130.5%



## イ 外注検査

### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	415	184	551	1013	570	605	770	741	431	533	393	884	7,090	8,064	87.9%
細菌培養	1	3	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	10	28	35.7%
病理・細胞診	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	—
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	0	1	2	0	0	1	4	0	0	8	—	—
合計	416	188	552	1,013	573	607	770	741	434	539	393	885	7,111	8,092	87.9%

### 入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	1113	914	1537	1255	1315	1255	1357	1290	1304	1214	919	1013	14486	13,025	111.2%
細菌培養	55	36	59	42	36	43	51	54	53	51	35	40	555	507	109.5%
病理・細胞診	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	5	0	—
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	6	1	0	9	6	4	4	7	6	43	—	—
合計	1,168	950	1,596	1,303	1,353	1,298	1,417	1,350	1,365	1,269	961	1,059	15089	13,532	111.5%

臨床検査技師 2 名（常勤 2 名）

外来診療は上半期の電話再診等により検体・生理機能検査共に減少したが、下半期は回復した。2020年7月より新型コロナウイルス感染症 PCR 検査を開始し、2021年2月からは院内検査による新型コロナウイルス感染症抗原定性検査を開始した。

## ④放射線課

### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	4	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	2	11	20	55.0%
一般撮影	35	6	38	49	58	42	43	29	44	32	25	35	436	478	91.2%
ポータブル撮影	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	8	6	133.3%
透視検査	1	1	3	1	1	2	2	2	2	2	0	3	20	20	100.0%
超音波検査(BTX)	30	24	29	29	26	28	37	27	32	28	32	38	360	345	104.3%
画像ファイル	6	3	1	9	11	7	9	6	8	5	1	12	78	110	70.9%
歯科デンタル	3	1	8	5	8	8	7	2	5	3	3	8	61	196	31.1%
合計	80	35	80	95	105	88	101	66	93	70	63	98	974	1,175	82.9%

### 入院

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	13	18	38	23	14	23	16	22	11	22	22	18	240	229	104.8%
一般撮影	11	14	20	24	25	10	38	29	34	13	12	18	248	241	102.9%
ポータブル撮影	81	36	63	81	73	64	67	82	70	51	36	63	767	602	127.4%
透視検査	9	24	13	25	14	16	15	9	14	15	13	16	183	167	109.6%
超音波検査(BTX)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
画像ファイル	1	5	6	6	1	6	11	9	5	5	6	6	67	68	99.0%
歯科デンタル	1	0	3	4	3	2	1	2	2	2	0	2	22	28	78.6%
合計	116	97	143	163	130	121	148	153	136	108	89	123	1527	1,335	114.3%

放射線技師 2 名（常勤 2 名）

新型コロナウイルス感染症の影響により外来診療の制限や、電話再診等により、全般的に一部減少したが下期は回復した。

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	3,988	4,023	3,959	4,027	4,132	4,030	4,043	3,833	4,012	3,910	3,570	3,877	47,404	49,067	96.6%
胃瘻食朝	940	982	955	1,003	955	898	909	873	929	1,017	954	1,078	11,493	10,985	104.6%
胃瘻食昼	1,316	1,359	1,324	1,369	1,350	1,347	1,378	1,321	1,367	1,433	1,327	1,451	16,342	16,227	100.7%
胃瘻食夕	1,197	1,243	1,182	1,272	1,219	1,167	1,217	1,134	1,223	1,323	1,209	1,324	14,710	13,442	109.4%
経管栄養食	12,081	12,367	12,306	13,029	13,119	12,864	13,136	12,480	12,820	12,881	11,668	13,145	151,896	148,061	102.6%
日中一時支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嚥下外来食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19,522	19,974	19,726	20,700	20,775	20,306	20,683	19,641	20,351	20,564	18,728	20,875	241,845	237,782	101.7%

イ 栄養指導

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
肥満	加算	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	5	11	45.5%
	非加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
低栄養	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
摂食嚥下障害	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	加算	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	加算	0	1	1	2	1	0	1	0	1	0	0	7	12	58.3%
	非加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%

管理栄養士1名（常勤2名の内、1名育休のため派遣職員を配置して運営した）

入所者食数の経口食は前年比3.4%減少し、胃瘻食、経管栄養食が0.4%~9.4%増加した。栄養指導は、新型コロナウイルス感染症や管理栄養士の減員の影響により前年度を下回る結果となった。

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規入所受入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1E棟	722	752	706	743	744	720	743	720	744	744	672	743	8,753	8,651	101.2%
2E棟	930	961	957	987	992	960	992	936	957	961	863	939	11,435	11,422	100.1%
2W棟	960	992	952	987	992	960	969	918	928	921	807	892	11,278	11,600	97.2%
3E棟	917	955	938	987	992	960	975	955	992	992	896	986	11,545	11,484	100.5%
小計	3,529	3,660	3,553	3,704	3,720	3,600	3,679	3,529	3,621	3,618	3,238	3,560	43,011	43,157	99.7%
1日平均(日/床)	117.6	118.1	118.4	119.5	120.0	120.0	118.7	117.6	116.8	116.7	115.6	114.8	117.8	117.9	99.9%

上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により外泊、他院の入院がなく増加したが、下半期は、悪性腫瘍や慢性疾患の悪化により他院への入院や逝去による退所(2名)のため減少した。

② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	38	24	42	43	40	43	50	53	42	37	32	38	482	616	78.2%
参加人数(人) 延べ	217	133	249	271	239	284	338	199	261	228	197	227	2,843	3,670	77.5%

4月、5月は棟応援のため、日活スタッフ3名で運営した。法人が定めるステージ1の場合は棟を訪問して活動実施した。ステージ2以降から通所型の活動を行った。年間を通して「棟単位」に活動を実施して感染防止を図った。

【活動内容】 ボッチャ/秋祭り/Xmas会/横浜トリエンナーレリモート鑑賞/お正月イベント/足浴/ミュージックケア/室内遊び/季節の装飾/シアター/ゲーム(wii)など



ボッチャ



秋祭り

(4) 在宅支援部門

①短期・入院利用等実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所 (延数)	1E棟	151	87	191	196	216	239	245	230	231	215	202	257	2,460	2,142	114.8%
	2E棟	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	7	0	14	0	-
	2W棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	-
	3E棟	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	7	0	-
	小計	151	87	191	196	216	239	245	238	237	215	211	257	2,483	2,142	115.9%
1日平均(日/床)		5.0	2.8	6.4	6.3	7.0	8.0	7.9	7.9	7.5	6.9	7.5	8.3	82	5.9	1381.4%
申し込み(件数)		31	25	25	14	19	25	23	28	33	27	29	40	319	491	65.0%
利用不可(件数)※		5	1	4	0	0	1	1	2	0	0	1	0	15	254	5.9%
入院 1E棟のみ		25	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	216	28.2%

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

延べ利用者数については、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言期間中の4～5月に利用の見合わせ等が増加し、利用件数が減少した。利用申し込みは利用月の2か月前となっている、7～8月分の申し込み件数の落ち込みが目立った。

その後、受入方法等についてセンター内調整を行いながら事業を継続し、9月～3月の1日平均7.7床に回復した。

②医療福祉相談室

相談調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
受診相談	109	64	129	127	94	112	100	92	104	87	99	158	1,275	1,229	103.7%
関係機関調整	75	88	153	156	117	126	154	98	125	114	102	130	1,438	1,668	86.2%
一般相談	7	36	36	89	63	67	61	85	30	39	57	58	628	609	103.1%
短期入所・相談調整	181	79	154	169	154	209	223	209	232	241	241	274	2,366	1,779	133.0%
計画相談支援・相談調整	26	34	56	45	24	44	44	58	36	44	63	33	507	351	144.4%
合計	398	301	528	586	452	558	582	542	527	525	562	653	6,214	5,636	110.3%

計画相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	-
立案数	0	1	3	1	1	1	2	3	1	1	4	2	20	29	69.0%
モニタリング数	2	3	5	4	6	9	3	9	5	7	5	7	65	44	147.7%
合計	2	4	9	5	7	10	5	12	6	8	9	13	90	73	123.3%

(5) 安全管理部門

インシデント・アクシデント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	6	2	5	12	9	2	3	4	1	2	2	6	54	88	61.4%
	1	22	19	26	19	20	12	10	12	27	12	13	16	208	278	74.8%
	2	22	12	12	11	17	9	14	13	25	21	25	41	222	212	104.7%
	3-a	2	7	2	6	7	5	5	10	13	9	10	8	84	19	442.1%
	3-b	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4	3	133.3%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

レベル3-b 事例 4件 (①6月 呼吸器アラームに気付かず呼吸停止、②10月 下肢裂離骨折、③11月 右大腿骨頸部骨折、④12月 卵禁の利用者に行事食で卵入りババロアを提供した)

レベル3-aが今年度増えた理由は、外傷対応時、軟膏等処置をした場合は全てレベル3-aとしたことによる。インシデント内容も昨年度より外傷の発見が多くなり、職員間で意識をもって観察する習慣ができた。

(6) 管理部門

管理課

職員採用状況

(名)

職種	医師	看護師	生活支援員	理学療法士	相談員	薬剤師	合計
採用者	3	11	6	1	1	1	23
退職者	2	8	9	1	0	0	20

生活支援員の欠員が継続したため、日中活動室担当職員による応援で対応した。  
年次有給休暇の取得促進や超過勤務時間の管理の適正化に取り組んだ。

### Ⅲ 横浜療育医療センター運営事業

2020年度は、一年を通して新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を強く受けた年度となった。上半期は短期入所、生活介護（通所）、放課後等デイサービス、訪問介護、リハビリテーションを含む外来診療などの在宅支援部門で利用者数が減少した。感染防止対策を盛り込んだ事業継続計画(BCP)を策定し、当該計画に基づいて事業継続したことから下半期は徐々に利用者数は回復したが、各部署で密閉・密集・密接の回避のための利用人数制限等を継続したことによって、短期入所、入院、外来診療、及び病児保育室で年度の目標を下回った。一方、訪問看護、訪問介護、放課後等デイサービス、保育室は目標を達成した。

療養介護（長期入所）では家族面会、外出、各種イベントやボランティア受入れの中止などで外部との交流が激減し、楽しみの少ない生活を強いられたが、日中活動の充実を図ることでストレスの軽減に努めた。徹底した感染防止対策により利用者に一人の感染者も出すことなく1年を過ごすことができた。

収支については、利用人数の減少により事業収入は減少したが、通所と放課後等デイサービスで欠席者への電話支援による算定が認められたことや、新型コロナ対策に関わる補助金などによってほぼ予算計上の収入を得ることができた。一方で、常時10数人の職員の欠員のため人件費が減少し、夏期賞与の削減もあって支出が抑えられたことにより、事業収支は予算額を上回る結果となった。

欠員による職員一人ひとりへの業務負荷の増加が常態化し、さらに新型コロナウイルス感染への不安と緊張が持続したことにより、職員に負担を強いた一年となったが、利用者を守ることはできたのは評価できることであった。

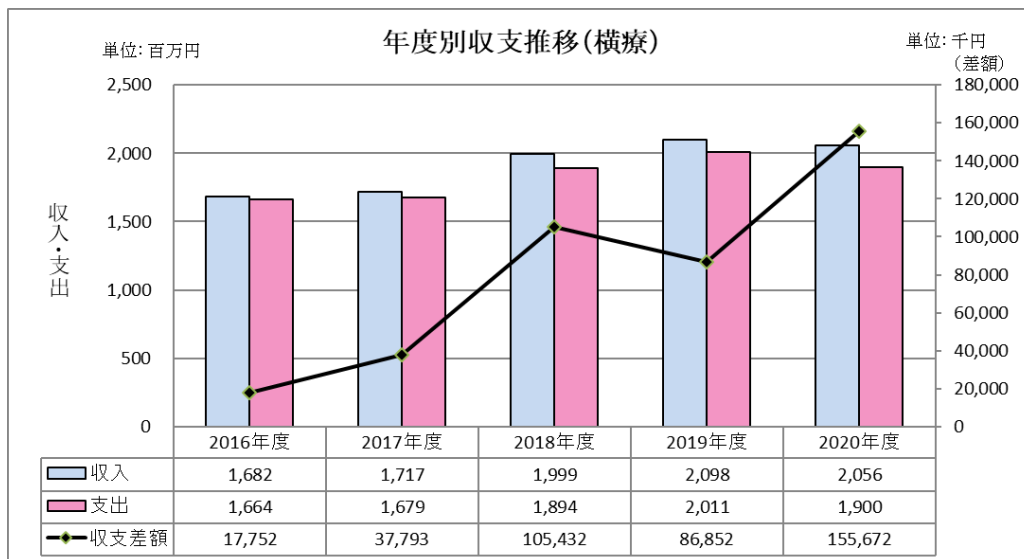
#### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	86名/日	86.1名/日	100.1%
短期入所	16.5名/日	13.5名/日	81.8%
入院	1.2名/日	0.3名/日	25.0%
外来診療 (短期入所外来を含む)	90名/日	77.3名/日	85.9%
	(106名/日)	90.5名/日	85.4%
生活介護（通所）	19名/日	18.9名/日	99.5%
訪問看護ステーションえーる	160件/月	161名/月	100.6%
放課後等デイサービスはみんぐ	3.5名/日	4.2名/日	120.0%
ヘルパーステーションまいはーと	600件/月	613件/月	102.2%
保育室ひかり	※ 18名/日	18.9名/日	105.0%
病児保育室あさひ	3名/日	2.0名/日	66.7%

※毎月の契約数

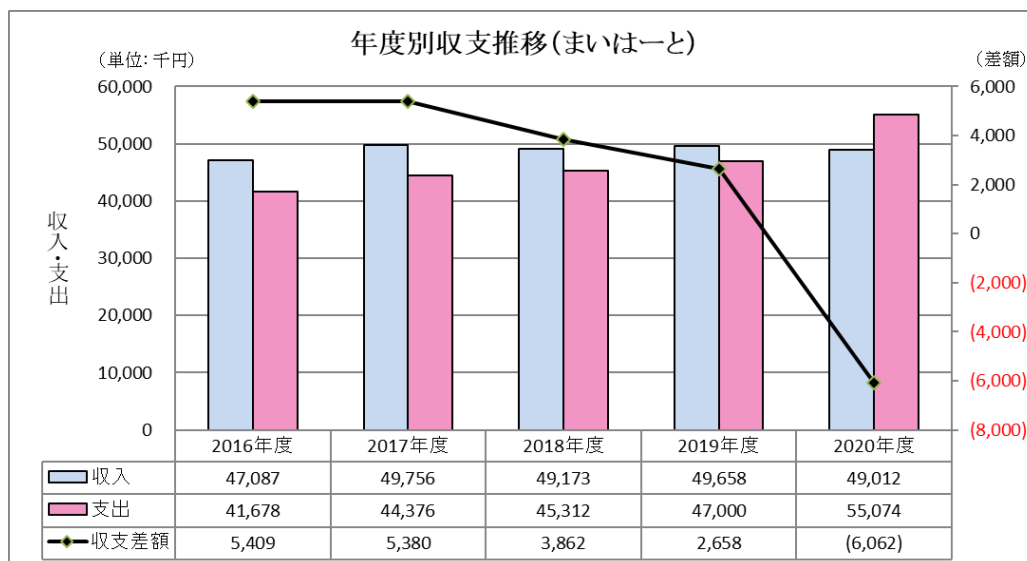
## 2 資金収支差額の推移

### (1) 横浜療育医療センター



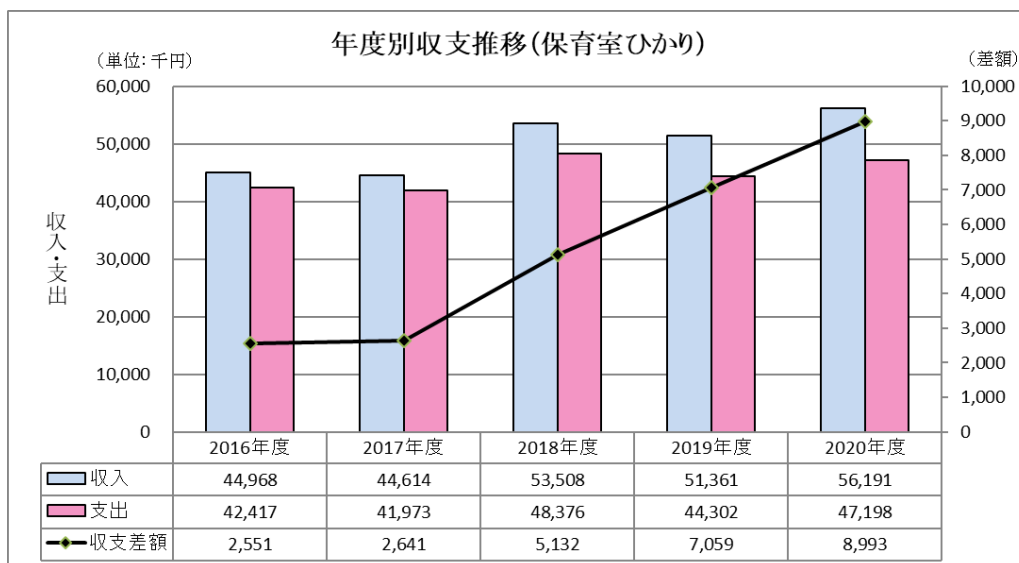
新型コロナウイルス感染症の影響で2020年4月・5月の収入は落ち込んだものの、感染症対策に関わる補助金収入があったため、ほぼ2019年度並みの収入となった。支出は、夏期賞与の0.5月分の削減等によって人件費を抑えたため、収支差額は155,672千円となった。

### (2) ヘルパーステーションまいはーと



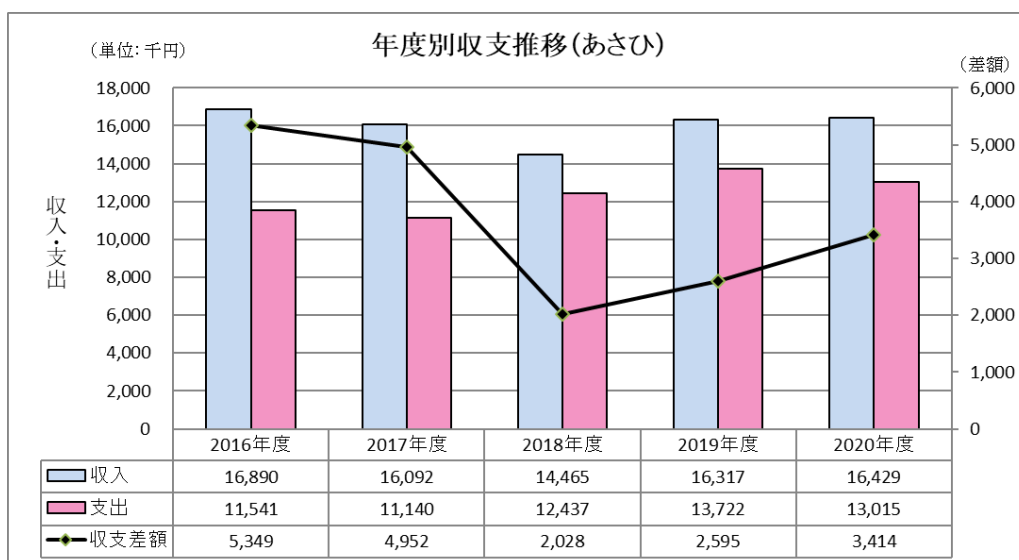
収入は新型コロナウイルスの影響で利用者からのキャンセル等で微減となり、支出は、常勤職員の増員(2名)により人件費が増え、収支差額はマイナス6,062千円となった。

(3) 保育室ひかり



2020年度は4月から定員19名での運営ができたことにより2019年度より収入が増加し、収支差額は8,993千円となった。

(4) 病児保育室あさひ



新型コロナウイルスの影響で利用者数は減少したが、2019年度と比較し支出を5%以上抑えることができ、収支差額は微増の3,414千円となった。

### 3 センター全体の実績

#### (1) 長期・短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
長期 87床	定数	2,610	2,697	2,610	2,697	2,697	2,610	2,697	2,610	2,697	2,436	2,697	31,755	31,842	99.7%	
	実績数	2,550	2,635	2,550	2,635	2,643	2,580	2,697	2,610	2,697	2,436	2,697	31,427	31,253	100.6%	
	1日の平均	85.0	85.0	85.0	85.0	85.3	86.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	86.1	85.6		
	占床率	97.7%	97.7%	97.7%	97.7%	98.0%	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	98.2%		
短期 15床	定数	450	465	450	465	465	450	465	450	465	420	465	5,475	5,490	99.7%	
	実績数	378	352	366	359	441	409	469	421	450	388	401	476	4,910	5,817	84.4%
	1日の平均	12.6	11.4	12.2	11.6	14.2	13.6	15.1	14.0	14.5	12.5	14.3	15.4	13.5	15.9	
	占床率	84.0%	75.7%	81.3%	77.2%	94.8%	90.9%	100.9%	93.6%	96.8%	83.4%	95.5%	102.4%	89.7%	106.0%	
入院 3床	定数	90	93	90	93	93	90	93	90	93	84	93	1,095	1,098	99.7%	
	実績数	0	9	39	42	4	0	0	0	0	0	0	94	506	18.6%	
	1日の平均	0.0	0.3	1.3	1.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	1.4		
	占床率	0.0%	9.7%	43.3%	45.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	46.1%		
合計 105床	定数	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,150	3,255	3,150	3,255	2,940	3,255	38,325	38,430	99.7%	
	実績数	2,928	2,996	2,955	3,036	3,088	2,989	3,166	3,031	3,147	3,085	2,837	3,173	36,431	37,576	97.0%
	1日の平均	97.6	96.6	98.5	97.9	99.6	99.6	102.1	101.0	101.5	99.5	101.3	102.4	99.8	102.9	
	占床率	93.0%	92.0%	93.8%	93.3%	94.9%	94.9%	97.3%	96.2%	96.7%	94.8%	96.5%	97.5%	95.1%	97.8%	

#### (2) 外来利用状況

##### 外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	537	486	634	670	623	498	611	625	625	567	506	701	7,083	8,495	83.4%
耳鼻科	33	20	47	34	28	30	39	31	33	33	29	35	392	572	68.5%
リハビリテーション課	543	532	787	816	833	721	857	786	839	779	765	981	9,239	8,888	103.9%
整形外科	10	0	14	9	10	12	14	12	16	13	19	16	145	163	89.0%
皮膚科	7	6	8	6	10	3	6	11	8	3	5	15	88	155	56.8%
精神科	4	3	5	4	9	11	11	6	7	6	3	8	77	0	-
歯科	67	103	190	162	138	116	143	151	176	141	163	181	1,731	1,838	94.2%
短期外来	380	347	365	362	437	406	468	420	451	387	325	477	4,825	※	
外来者総数	1,581	1,497	2,050	2,063	2,088	1,797	2,149	2,042	2,155	1,929	1,815	2,414	23,580	20,111	117.2%
1日平均(短期除く)	57.2	63.9	76.6	81.0	82.6	69.6	76.4	85.4	85.2	81.2	82.8	84.2	77.2		
1日平均(前年度)	83.4	82.7	85.3	85.4	80.9	82.5	79.2	86.1	87.9	84.8	81.8	77.5	83.1		

※前年度9月より

#### (3) 地域交流

##### ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
個人実数	0	0	1	11	8	11	9	3	1	2	1	1	48	225	21.3%
延べ回数	0	0	1	13	12	21	16	4	3	3	2	3	78	505	15.4%
団体実数	1	1	3	3	3	3	4	4	3	1	1	1	28	46	60.9%
延べ人数	18	29	21	16	39	28	22	27	21	23	11	10	265	326	81.3%

新型コロナウイルスの影響で理美容と植栽管理を行うボランティアを受け入れた。

### 4 各部署の報告

#### (1) 診療部門

##### ① 外来診療

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、またその感染拡大予防対策を重点として対応した一年であった。目標値は90名/日としたが、小児科は電話再診と長期処方希望者が増加、耳鼻科は診療日数の減少と緊急性のない場合の感染リスクの高



い診療・処置の差し控え、歯科は定期診療の先延ばし、リハビリは密を避けるために人数制限や単位の減少を行ったことなどの影響で、年度当初の4～6月は目標の60%前後の利用者数にとどまった。年度後半はクリーンタイムを設けるなどの感染対策を行いながら、徐々に80名/日まで回復した。

4月から開始した児童精神科は順調に受診者が増加した。小児科医師の外来でも発達障害の受診者は増加傾向にあり、リハビリ・相談室と連携して診療にあたっている。

夜間・休日の対応可能な人員不足のため、発熱外来は平日日中のみの対応とした。

夏風邪やインフルエンザなどの感染症の流行がなかったこともあり、救急外来受診者は例年の半数以下（220名）であった。

## ②入所・入院・通所

長期入所は10/1時点で満床となった。高齢化・重症化の影響によって合併症対応のため他院への受診が多い状態は続いている。幸い今年度は死亡された入所者はいなかった。

短期入所は新型コロナウイルス感染症の流行の波により申込数やキャンセル数が変動した。一方で他施設の受け入れ休止・利用人数制限を受けて希望者が増加し、より年少の重症者や医療ケアがあって動ける方など、多様な利用者への対応が求められた。また、介護者の体調不良による緊急入所の依頼が増え、相談室とともに調整し可能な限りの受け入れを行った。通常受診や検診が困難であった利用者には適宜検査を行った。

入院は棟のスタッフ不足や病床（部屋）配置の問題があり受け入れが困難な状況であり、新型コロナウイルス感染症の可能性のない非常に少人数のみの受け入れに留まった。

生活介護（通所）は、他施設に通所が困難な医療ケアの多い重症の利用者が多く、送迎（移動）による体調の悪化が問題となるケースや、体調管理に通所の多くの時間を費やす利用者が増えている。スタッフとともに健康チェックや排痰ケアなどを行うとともに、対応を模索している。家族との調整、主治医への報告や訪問看護との連携が重要になっている。

## (2) 診療支援部門

### ①リハビリテーション課

#### ア. 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	311	282	453	489	466	384	492	435	476	394	452	535	5,169	5,572	92.7%
	作業療法	179	156	207	227	259	248	264	247	258	272	250	323	2,890	3,300	87.5%
	言語聴覚療法	154	145	201	212	263	231	279	254	269	258	253	285	2,804	3,033	92.4%
	臨床心理	46	44	80	68	74	72	79	65	108	76	81	96	889	1,000	88.9%
	音楽療法	4	0	5	5	5	2	5	5	4	3	4	3	45	17	264%
入所	理学療法	145	161	257	116	98	122	124	88	99	103	86	73	1,472	1,029	143.0%
	作業療法	7	47	117	81	47	52	31	36	30	45	42	27	562	353	159.2%
	言語聴覚療法	8	35	38	42	32	33	31	27	26	30	31	24	357	235	151.9%
	臨床心理	7	0	13	11	1	7	10	1	0	6	3	0	59	442	13.3%
	音楽療法	12	11	11	12	11	11	12	11	10	12	11	11	135	33	409%
合計	理学療法	456	443	710	605	564	506	616	523	575	497	538	608	6,641	6,601	100.6%
	作業療法	186	203	324	308	306	300	299	283	288	317	292	350	3,452	3,653	94.5%
	言語聴覚療法	162	180	239	254	295	264	310	281	295	288	284	309	3,161	3,268	96.7%
	臨床心理	53	44	93	79	75	79	89	66	108	76	84	96	948	1,442	65.7%
	音楽療法	16	11	16	17	16	13	17	16	14	15	15	14	180	50	360%
	総合計	873	881	1,382	1,263	1,256	1,162	1,327	1,169	1,280	1,193	1,213	1,377	14,376	15,014	95.7%
	1日平均件数	41.5	48.9	62.8	60.1	62.8	58.1	60.3	58.4	67.3	62.7	67.3	62.5		60.3	

イ. 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	7	3	6	7	2	5	5	5	7	3	7	5	62	78	79.4%
作業療法	9	4	8	10	9	5	10	4	8	5	7	3	82	86	95.3%
言語聴覚療法	12	6	13	10	7	8	12	3	5	5	5	4	90	105	85.7%
臨床心理	10	2	15	5	13	9	13	8	7	7	5	4	98	55	178.0%
音楽療法	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	75.0%
合計	41	15	42	32	31	27	40	20	27	20	24	16	335	328	102.1%

2019年10月から開始した音楽療方は外来・長期入所者の個別療法に加え、4月から日中活動室と連携して長期入所者のグループ療法を開始した。

②薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
小児科	処方箋枚数	7	6	5	9	7	3	6	2	2	7	6	2	62	172	36.0%
	処方件数	8	8	8	16	12	5	8	3	3	18	9	2	100	268	37.3%
	調剤数	8	9	8	17	13	5	8	3	3	22	9	2	107	310	34.5%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	4	0	4	2	6	1	5	6	6	6	3	1	44	77	57.1%
	処方件数	6	0	4	2	6	2	10	7	11	8	3	1	60	113	53.1%
	調剤数	9	0	5	3	11	3	15	10	17	11	4	2	90	147	61.2%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
救急外来	処方箋枚数	1	5	2	6	1	1	7	4	8	2	2	2	41	172	23.8%
	処方件数	1	9	4	11	2	1	12	7	12	4	2	6	71	308	23.1%
	調剤数	1	9	20	13	2	3	14	7	17	6	2	6	100	475	21.1%
整形外科	処方箋枚数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	処方件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	調剤数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
皮膚科	処方箋枚数	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	5	0	
	処方件数	4	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4	0	11	0	
	調剤数	4	0	0	0	1	0	1	1	0	0	5	0	12	0	
通所	処方箋枚数	5	1	3	9	11	3	7	2	5	7	3	3	59		
	処方件数	5	1	3	10	11	4	7	2	5	8	3	4	63		
	調剤数	5	1	3	12	11	5	8	2	5	8	4	4	68		

入院

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
A棟	処方箋枚数	295	158	230	191	268	190	262	308	198	273	196	284	2,853	2,818	101.2%
	処方件数	319	568	930	581	1,358	691	1,168	1,542	772	1,283	791	1,351	11,354	13,357	85.0%
	調剤数	2,016	722	1,275	820	1,803	997	1,599	2,092	1,070	1,631	1,063	1,832	16,920	18,563	91.1%
B棟	処方箋枚数	291	149	129	188	190	146	185	244	165	197	205	217	2,306	2,395	96.3%
	処方件数	1,172	530	456	854	785	507	733	1,111	641	814	970	856	9,429	10,440	90.3%
	調剤数	1,492	715	559	1,059	1,066	622	940	1,424	817	1,027	1,200	1,109	12,030	12,809	93.9%
C棟	処方箋枚数	410	319	314	279	311	379	381	385	354	298	361	395	4,186	4,640	90.2%
	処方件数	1,272	1,333	1,573	1,120	1,474	2,106	1,775	2,285	1,497	1,709	1,887	2,079	20,110	21,833	92.1%
	調剤数	2,515	1,798	2,015	1,453	2,167	2,832	2,305	2,912	1,967	2,226	2,476	2,610	27,276	29,975	91.0%

イ 注射院内処方

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	前年度比	
外来	処方箋枚数	9	21	21	49	14	18	57	526	195	34	6	28	978	863	113.3%
	処方件数	9	21	21	49	14	18	57	526	195	34	6	28	978	863	113.3%
	調剤数	14	27	22	107	16	20	106	526	195	47	6	29	1,115	931	119.8%

入院

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	前年度比	
A棟	処方箋枚数	4	21	52	38	38	65	26	35	87	58	78	74	576	1,095	52.6%
	処方件数	4	22	69	75	53	108	26	62	146	90	113	106	874	1,095	79.8%
	調剤数	4	22	78	104	61	143	26	85	200	95	148	139	1,105	1,398	79.0%
B棟	処方箋枚数	35	45	44	62	16	10	61	25	7	24	4	0	333	793	42.0%
	処方件数	35	68	54	111	26	17	69	38	7	45	12	0	482	793	60.8%
	調剤数	35	98	71	164	28	26	76	54	9	52	21	0	634	997	63.6%
C棟	処方箋枚数	185	155	264	133	238	213	157	112	84	110	238	146	2,035	7,094	28.7%
	処方件数	330	220	437	272	459	369	247	187	141	237	412	230	3,541	7,094	49.9%
	調剤数	414	301	627	411	669	512	310	267	201	316	598	317	4,943	9,427	52.4%

外来院内調剤、入院調剤の減少は、新型コロナウイルス感染症により直接外来にこられる利用者及び短期入所の利用が減少したことによると考えられる。

入院注射薬の減少は、感染対策の徹底から病棟でのインフルエンザの発症がなかったこと、2019年には末期癌患者の緩和ケアがあり注射薬の使用が多かったことによるものと思われる。

### ③検査課

#### ア 院内検査

##### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	2	34	59	45	32	31	26	29	30	29	33	26	376	526	71.5%
血算	3	39	69	91	50	43	44	34	40	43	49	89	594	665	89.3%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
電解質	1	24	55	34	33	24	28	22	22	18	22	306	589	433	136.0%
迅速血糖(課内のみ)	0	2	3	4	1	2	0	0	0	1	1	3	17	23	73.9%
血中薬物濃度	4	21	62	38	65	24	22	15	20	16	19	27	333	357	93.3%
血液ガス分析	0	10	35	8	9	4	3	3	5	3	8	4	92	128	71.9%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
尿定性	0	18	40	66	21	17	25	18	9	16	18	55	303	272	111.4%
尿沈渣	0	17	38	27	17	14	23	17	9	8	9	12	191	221	86.4%
迅速検査	0	3	15	12	7	15	13	5	10	17	13	8	118	284	41.5%
肝炎ウイルス検査	0	0	2	3	6	3	6	0	0	0	0	3	23	38	60.5%
心電図	0	11	25	42	1	2	6	3	1	2	3	9	105	107	98.1%
脳波	0	1	4	6	9	3	7	3	5	6	6	8	58	94	61.7%
超音波検査(乳房)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	10	180	407	376	251	182	203	150	151	159	181	550	2,800	3,148	88.9%

##### 入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	11	87	89	109	96	101	70	65	73	88	62	61	912	1,508	60.5%
血算	11	88	91	112	97	101	79	65	73	90	66	61	934	1,523	61.3%
血液像鏡検	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	25.0%
電解質	5	53	41	53	41	49	45	29	27	43	21	18	425	768	55.3%
迅速血糖(課内のみ)	0	3	3	5	1	3	2	0	0	1	1	0	19	19	100.0%
血中薬物濃度	0	11	7	35	12	29	28	8	15	14	9	17	185	195	97.9%
血液ガス分析	2	19	23	30	19	19	15	11	12	7	7	5	169	363	45.6%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0.0%
尿定性	3	9	6	36	23	27	31	5	5	8	3	5	161	430	37.4%
尿沈渣	3	8	6	35	22	26	31	5	4	8	3	5	156	226	69.0%
迅速検査	3	17	13	4	14	43	6	13	16	17	13	6	165	458	36.0%
肝炎ウイルス検査	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	9	19	47.4%
心電図	0	1	1	22	10	25	23	2	0	0	0	1	85	78	109.0%
脳波	0	1	1	4	0	4	1	0	0	1	0	0	12	25	48.0%
超音波検査(乳房)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	50.0%
合計	0	300	281	448	336	430	331	204	225	277	185	179	3,234	5,639	57.4%

#### イ 外注検査

##### 外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	22	56	139	111	79	58	75	51	57	52	72	119	891	1,071	83.2%
細菌培養	3	41	156	129	93	75	32	26	23	24	23	20	645	493	130.1%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
合計	25	97	295	240	172	133	107	77	80	76	95	139	1,536	1,565	98.1%

##### 入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	11	55	41	124	79	124	142	52	36	59	27	21	771	1,049	73.5%
細菌培養	2	17	21	53	43	55	42	23	12	23	8	5	304	405	75.1%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	細4	0	細1	細3	0	0	8	2	400.0%
合計	13	72	62	177	122	179	188	75	49	85	35	18	1,075	1,465	73.4%



エ. 栄養サポートチーム（NST）実績 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新介入	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	100.0%
介入中	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	4	20	20.0%
回診数	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	1	6	20	30.0%
介入終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5	20.0%

オ. 通所食数の実績 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	63	49	59	69	63	39	69	60	62	61	54	75	723	1,025	70.5%
胃瘻食	127	96	199	186	183	117	182	168	168	146	153	205	1,930	1,909	101.1%
合計	190	145	258	255	246	156	251	228	230	207	207	280	2,653	2,934	90.4%

カ. 放課後等デイサービス食数実績 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
昼食(経口食)	34	36	26	25	31	1	0	0	13	10	0	27	203	132	153.8%
昼食(胃瘻食)	6	0	4	2	6	0	0	0	4	5	0	17	44	32	137.5%
間食	37	36	54	43	35	33	51	53	39	47	53	65	546	521	104.8%

キ. 訪問栄養指導の実績 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
巡回相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
健康相談個別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0.0%

新型コロナウイルス感染症の影響により、4～5月は短期入所・通所の利用数が減少となり食数は前年比を下回る。6月以降、食数は回復し結果、前年に比して増加となった。

食数回復後、食数増の要因は、長期入所・短期入所・通所では胃瘻食増加、そして短期入所は併用食対象が増加傾向であった。背景としては少しでも口から摂ろう、少しでも医薬品栄養剤から食品を摂ろうと併用食・胃瘻食の増加に繋がっているのではないかと考える。

外来栄養指導は、今年度より情報通信機器（電話）算定が認められ積極的に取り組み、結果として前年度比で倍増となった。

訪問栄養指導は、訪問は中止し『食事バランスについて』の資料配付を行っており、次回開催へ繋げる。

新型コロナウイルス対応の非常食確保と整備は、栄養課スタッフ不在時の他部署体制を考慮した。

(3) 居住支援部門

①長期入所利用状況 (件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所	A棟(25名)	750	775	750	775	775	750	775	750	775	775	700	775	9,125	9,117	100.1%
	B棟(26名)	750	775	750	775	783	780	806	780	806	806	728	806	9,345	9,492	98.5%
	C棟(36名)	1,050	1,085	1,050	1,085	1,085	1,050	1,116	1,080	1,116	1,116	1,008	1,116	12,957	12,644	102.5%
	合計(87名)	2,550	2,635	2,550	2,635	2,643	2,580	2,697	2,610	2,697	2,697	2,436	2,697	31,427	31,253	100.6%
	占床率(%)	97.7%	97.7%	97.7%	97.7%	98.0%	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	98.2%	

2019年度末から長期入所枠2名分が空床となっていたが、8月と10月に2名の方を受け入れた。4月と1月に緊急事態宣言が発令され、その期間は利用者への直接対面での面会をすべて禁止とし、リモート面会のみとした。これに伴い、ご家族の精神的不安を解消するため、利用者の写真とコメントを入れたカードを月1回程度郵送した。利用者の活動は、日中活動室での活動の他に少人数での活動を徹底し、季節行事も密にならないよう工夫をして実

施した。また、9月にB棟を10:1看護体制に変更したことによって全棟で医療度の高い利用者の受け入れが可能となり、全棟内で8名の利用者に棟間移動していただき、若干の医療ケア必要度の調整をした。

②日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	67	58	71	66	65	66	69	60	62	59	52	67	762	629	121.1%
参加人数(人)	303	265	334	307	303	317	283	254	264	245	205	257	3,337	3,485	95.8%

1年間を通じて「新型コロナウイルス感染防止対策」に努めながら活動を実施した。グループの変更に伴う利用者の混乱は見られなかった。医療グループは各棟のデイルームで実施することによって、活動の充実に繋がった。稼働率は前年度を下回ったが、ニーズの多い散歩の実施回数を増やしたり、これまでの活動の内容を見直す事ができた年であり、利用者に寄り添う活動ができた。

<製作活動>



クリスマス飾りを製作中!

<お正月>



年の初めに獅子舞いがガブリ!

(4) 在宅支援部門

①短期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所 (延数)	A棟(5名)	120	115	127	124	146	136	165	144	159	136	132	165	1,669	1,903	87.7%
	B棟(4名)	136	106	108	111	120	122	139	126	131	108	118	132	1,457	1,616	90.2%
	C棟(6名)	122	131	131	124	175	151	165	151	160	144	151	179	1,784	2,298	77.6%
	合計(15名)	378	352	366	359	441	409	469	421	450	388	401	476	4,910	5,817	84.4%
占床率(%)		84.0%	75.7%	81.3%	77.2%	94.8%	90.2%	100.9%	93.6%	96.8%	83.4%	95.5%	102.4%	89.7%	106.0%	84.6%
申し込み(件数)		103	93	81	81	104	96	107	108	94	85	90	95	1,137	1,071	106.2%
利用不可(件数)※		18	13	6	4	13	11	11	16	4	13	11	3	123	261	47.1%

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

新型コロナウイルス感染防止対策を講じることによって、受け入れを制限することなく事業継続したが、利用自粛によってキャンセルが多くなり、事前申し込みも減少した。8月頃から事前申し込みも回復し、9月はほぼ前年度並みとなった。1月に入り再び緊急事態宣言が発令され、キャンセルも増えたが、各棟の職員体制が厳しくなるとともに、相談員の欠員も多くなり受付業務が滞ってきたため、新規の短期入所を一時休止した。

②入院利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C棟(3名)	0	9	39	42	4	0	0	0	0	0	0	0	94	271	34.7%
占床率(%)	0.0%	9.7%	43.3%	45.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	46.1%	

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、感染の疑いのない方のみを受け入れとした。空床は緊急入所用として利用することとしている。

③生活介護(通所)

(名)

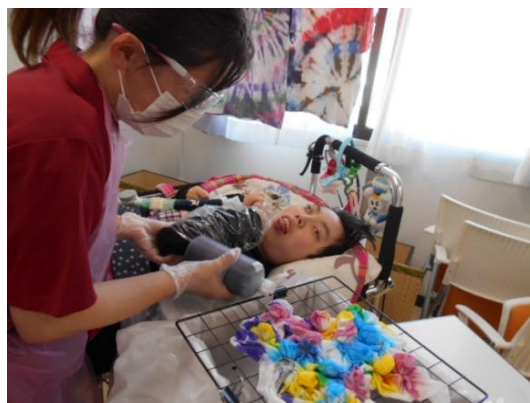
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
在籍者数	43	43	44	44	44	44	43	43	43	43	43	43	43	42	102.2%
通所日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243	244	99.6%
通所者数	359	353	424	402	395	379	354	320	325	295	287	382	4,275	4,456	95.9%
電話支援	95	150	67	51	52	166	54	48	52	61	50	61	907		
欠席者数	109	61	91	81	69	87	144	112	128	134	122	142	1,280	1,029	124.4%
1日平均通所者	17.1	19.6	19.3	19.1	19.8	19.0	18.5	19.4	18.9	18.7	18.7	19.3	18.9	18.3	103.4%

2021年3月現在、6名の利用者が通所を自粛していたが、うち4名は1日2回の電話による在宅支援を行ない出席扱いとなったことで、1日あたりの平均通所者数が18.9名となった。他施設併用利用者が多く、接触歴の確認や迅速な対処のため、連絡方法としてマチコミ(メールでのコミュニケーションツール)を導入し利用を開始した。

定期的に短期入所する利用者が3名、その他にも体調不良で入院すると長期にわたる利用者も多いため欠席者が増えている。通所利用者の多くは重症化により在宅医療や訪問看護を利用しながら生活しており、関連施設との連絡調整が課題となった。活動が制限されることが多かったが、楽しみ、思い出に残る活動としてタイダイ染め(Tシャツの柄を考えた絞り染め)を行ない、できたものを記念として利用者に持ち帰ってもらう活動を行なった。



書道パフォーマンス



タイダイ染め

④訪問看護ステーションえーる

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数(件)	152	141	169	161	167	173	175	143	181	165	141	162	1,930	1,687	114.4%
電話支援(件)	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10	-	-
1日平均	7.2	7.8	7.7	7.7	8.4	8.7	8.0	7.5	9.1	8.7	7.8	7.0	7.9	7.0	113.5%
リハ同行数	8	9	11	14	14	10	16	13	12	21	11	13	152	53	286.8%

専任看護師(管理者を含む)を5名に増やし、機能強化型訪問看護療育費Ⅲを取得したことによって管理療養費の加算を実現した。訪問件数、リハ同行数ともに数値目標を達成した。臨時休校や外出への不安から、臨時や緊急の訪問依頼が多かった。コロナ禍において体調管理面の相談が多く、関連機関との情報交換や連携業務が増えた。

⑤居宅介護課 (まいはと)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数	517	474	635	661	616	640	675	658	683	532	566	696	7,353	7,517	97.8%
1日平均	23.5	21.5	28.9	30.0	28.0	29.1	30.7	29.9	31.0	24.2	25.7	31.6	27.9	28.5	

新型コロナウイルス感染症関連のキャンセルが多かった。利用者が通所している施設の関係者や、家族で疑わしい方が出るとキャンセルが入った。

通所している施設が新型コロナウイルス感染症関連で休業になると、2週間訪問介護も中止せざるを得ず、そのようなケースが頻繁に発生した。緊急事態宣言が発出されるとキャンセル数はさらに増え、宣言期間中は訪問介護の受け入れを自粛する家庭も少なくなかった。

⑥放課後等デイサービス はみんぐ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	70	76	93	88	77	73	82	88	94	92	83	106	1,022	765	133.6%
1日平均	3.3	4.2	4.2	4.2	3.9	3.7	3.7	4.6	4.7	4.8	4.6	4.6	4.2	3.0	140.2%

緊急事態宣言期間中は、特別支援学校の行事予定や下校時間が急に変更になることが多く、スタッフの配置や送迎車の調整等に追われた。学年別の分散登校や早下校などが不規則に行われて、その回数も増えたため、子どもたちが「はみんぐ」で過ごす時間が平均して長くなった。



僕のリクエスト食はハンバーグカレー！



保土谷公園にドライブ！

⑦送迎事業

医療的ケア児2名を年間223日送迎したが、うち1名が2021年2月に逝去した。2021年度は新たに女兒1名を受け入れる。

⑧医療福祉相談室

相談業務

(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話（メール）	213	230	221	307	251	211	218	180	168	125	208	196	2,528	2,174	116.3%
来所	10	16	39	33	34	38	34	35	39	26	36	22	362	529	68.4%
訪問等	21	30	25	40	42	22	6	7	6	5	4	3	211	391	54.0%
合計	244	276	285	380	327	271	258	222	213	156	248	221	3,101	3,094	100.2%

### 短期入所調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	103	93	81	81	104	96	107	108	94	85	90	95	1,137	1,119	101.6%
利用件数	56	49	63	70	79	74	87	85	81	62	65	81	852	821	103.8%
利用不可※1	18	13	6	4	13	11	11	16	4	13	11	3	123	298	41.3%
キャンセル※2	29	31	12	7	12	10	9	6	7	7	12	9	151		

※対応不可は、満床等の理由により入所対応ができなかった件数

### 計画相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
立案数	1	4	0	4	2	5	4	5	2	49	8	5	89	14	635.7%
モニタリング数	11	14	5	13	8	4	7	6	1	16	7	6	98	138	71.0%
合計	12	18	5	17	10	9	11	11	3	65	15	11	187	152	123.0%

立案数については、受給者証の更新が重なったため、前年度比で635.7%となった。

相談員の欠員状況が深刻となり、1月下旬より新規の診療希望を一時休止する案内をホームページに掲載した。昨年度同様に児童精神科の初診には相談員が同席し、状況を把握した上で必要性があれば継続的支援に繋げた。小児科・内科のケースにおいても家族支援や関係機関との連携に努めた。

短期入所は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、調整業務に苦慮した。

他施設において短期入所事業の休業や縮小実施する中、当センターは通常の運営をしていたため申し込み数は増加したが、感染拡大状況の変化や近親者等で発熱者が出るなどによるキャンセルも増加した。

また、2020年度は緊急入所の依頼が多かった。主たる介護者の疾病等により在宅生活が困難となっているケースが増えており、キャンセルによる空き状況に応じて受け入れを調整した。

計画相談については、相談支援専門員の欠員により新規を受けることはできず、昨年同等の実施数に留まった。

## (5) 安全管理部門

### インシデント・アクシデント件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	7	6	3	7	8	6	5	4	5	7	2	4	64	95	67.4%
	1	39	17	19	31	26	15	40	34	30	30	26	35	342	404	84.7%
	2	7	13	13	27	11	13	17	11	18	16	13	11	170	167	101.8%
	3-a	0	4	2	4	1	3	2	4	8	3	2	4	37	51	72.5%
	3-b	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	5	8	62.5%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

今年度はICTと協力して新型コロナウイルス感染症への対応を重点的取組みとした。新型コロナウイルス感染症対応マニュアル・BCPの作成、院内のゾーニングに始まり、スタッフの体調不良

への対応、利用者及び関連施設での感染者情報の収集と院内対応の決定、感染対策物資の確保・備蓄やスタッフへの教育など、多岐にわたる関連業務を行った。9月には通所利用者が他施設で濃厚接触後PCR陽性となり、事業を2週間休業したことをはじめ、短期入所者の発熱やスタッフの家族の罹患などがあったが、院内での感染拡大は防いだ。物資については年度末にはほぼ正常に戻りつつあり、災害用を兼ねて1か月分の備蓄確保ができた。

インシデント・アクシデントは年間618件の報告があり、うち3bは5件で骨折2件、個人情報漏洩3件であった。個人情報漏洩については事務手続きの標準化を検討する。前年度よりレベル2の割合が多く、ドレーン/チューブに関連する注入漏れ・事故抜去の報告が多かった。各部署で具体的な対策を講じ、夜間安全ラウンドを行うなど事故防止に取り組んだ。

## (6) 管理部門

### ①管理課

#### 職員採用状況

職種	医師	看護師	生活支援員	福祉相談員	言語聴覚士	理学療法士	薬剤師	その他	合計
採用者	3	16	10	0	0	3	4	9	45
退職者	1	11	12	3	1	0	2	10	40

※医師の採用数は、歯科医師と非常勤医師数

各職種で欠員状態が続くとともに、その人材確保は非常に困難であった。

### ②保育室ひかり

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	214	133	274	332	275	304	344	321	333	288	319	384	3,521	3,569	98.7%
1日平均	8.6	5.8	10.5	13.3	11.0	12.7	13.8	13.4	13.9	12.5	13.9	15.4	12.1	12.3	98.0%
一時保育利用児総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	

2020年度は19名定員を確保してスタートになったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため4月から6月は横浜市より登園自粛要請があり、その間登園児数は減少した。

また、年に2回の保護者参加の行事も中止した。1年間を通じて、保護者が子どもたちの様子を見る機会がなくなってしまうため、ミニアルバムを作成して3月にプレゼントした。保育士、調理師の研修はZOOMやeラーニングを利用して、キャリアアップ研修や食物アレルギー等の研修に参加し、職員の人材育成につなげた。

### ③病児保育室あさひ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	12	61	46	37	31	41	43	37	39	40	33	45	465	749	62.1%
1日平均	0.6	3.4	2.1	1.8	1.6	2.1	2.0	1.9	2.0	2.1	1.8	2.0	2.0	3.1	

利用人数は昨年度の6割となっている。その要因としては、新型コロナウイルス感染症の流行により、①定員数を3世帯に制限、②予約受付方法を電話のみとした、③6月まで上気道炎等を含む呼吸器疾患の児童の受け入れを中止、④医師連絡票記入方法は、他院を受診して

記入を条件とした、などの利用制限によるものと考えられる。

5月に利用数が多かったのは、緊急事態宣言中に休園、休校になった職員の子どもを預かる場として対応したことによる。その他、利用者からの電話での病気の相談に応じ、利用者確保に努めた。横浜市病児保育事業の補助金は、昨年度の実績に基づいているため補助額に影響はなかった。

## IV 地域療育センターあおば

4月7日の新型コロナウイルス感染拡大に係る緊急事態宣言に伴い、横浜市からの指示によってセンター全体の運営を一時休止した（4月13日～6月13日）。電話による支援等を中心に緊急を要する利用者のみへの対応とし、職員を2班に分けて出勤するなど、感染防止策を徹底した。緊急事態宣言解除後は、センター内の各所にビニールカーテンやアクリル板、アルコール消毒液などを設置して、感染防止対策を万全にするための環境整備を行い、段階的にセンター運営を再開することとなった。

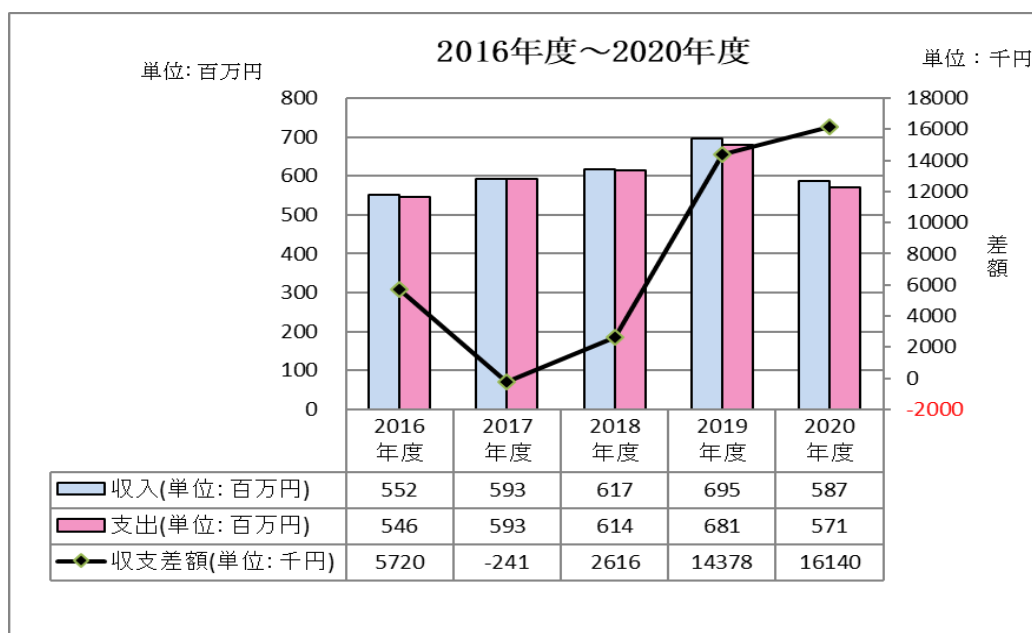
7月以降は児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の通所部門では、送迎や給食をはじめとしてほぼクラス運営を正常に戻し、稼働率は例年通りとなった。一方、医師の診察や訓練等では、感染防止対策を講じた上での個別の受入れのため、例年よりも低い稼働率となった。

各部署の実績は以下の通りである。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
外来診療	60.0名／日	35.9名／日	59.8%
福祉型児童発達支援	48.2名／日	47.6名／日	98.7%
医療型児童発達支援	14.4名／日	14.9名／日	103.4%
児童発達支援事業	11.5名／日	8.8名／日	76.5%
障害児相談支援事業	250名	396名	158.4%
保育所等訪問支援	60名	16名	26.6%

### 2 資金収支差額の推移



主な収入は、横浜市からの補助金と通園施設収入、診療報酬及び相談支援事業収入となっており、支出は、人件費、事業費及び事務費となっている。2020年度は、新型コロナの影響により外来診療が大きく減少するなど収入減となったが、横浜市による休止期間中の収入補填や2020年度限定の補助金精算方法の変更により収益を確保した。

### 3 各部署の報告

#### (1) 診療課

##### ① 医師診察

新型コロナウイルス感染拡大による事業一時休止、感染対策のための診療枠数の制限、医師の交代及び減員のため、年間の初診、再診ともに昨年度実績を下回った。

区分	新規診療	再診	計
未就学	255	894	1,149
学 齢	58	646	704
合 計	313	1540	1,853

緊急事態宣言期間中の4、5月は、緊急性が高いケースのみ対応した。6月は診療1枠体制、7月以降は診療2枠体制とし、診察室や待合室の換気や消毒を徹底しながら診療にあたった。主に学齢児の診察を担当している児童精神科は非常勤医師が2名から1名となったため、初診は前年度比30%減、再診は64%減となっている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比		
新規診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108		
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	児童精神科	未就学	0	0	4	3	2	1	1	1	5	4	1	0	22	33	66.7%	
		学 齢	3	4	7	15	2	1	4	5	6	6	4	1	58	82	70.7%	
	小児科	未就学	4	8	9	25	32	32	27	11	18	18	10	16	210	74	283.8%	
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		
	耳鼻科	未就学	2	0	4	5	4	4	5	3	4	4	4	4	43	58	74.1%	
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摂食外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補装具外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	未就学	6	8	17	33	38	37	33	15	27	26	15	20	255	284	89.8%		
	学 齢	3	4	7	15	2	1	4	5	6	6	5	1	58	87	66.7%		
計		9	12	24	48	40	38	37	20	33	32	20	21	313	371	84.4%		
再診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	711		
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92		
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学 齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195		
		学 齢	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5	48	10.4%	
	児童精神科	未就学	2	0	1	3	5	10	7	2	4	8	13	13	68	89	76.4%	
		学 齢	9	6	44	68	61	66	36	33	28	46	60	79	536	1490	36.0%	
	小児科	未就学	16	6	34	50	47	65	91	84	63	72	107	116	751	374	200.8%	
		学 齢	5	0	3	11	5	5	13	8	1	8	4	5	68	29	234.5%	
	耳鼻科	未就学	3	0	1	5	6	6	6	9	4	14	8	10	72	122	59.0%	
		学 齢	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	7	28.6%	
	摂食外来	未就学	0	0	0	0	2	0	3	0	4	0	3	0	12	23	52.2%	
		学 齢	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	5	7	71.4%	
補装具外来	未就学	2	0	6	14	20	18	14	16	7	19	14	17	147	119	123.5%		
	学 齢	8	3	7	11	6	14	17	18	9	9	12	15	129	143	90.2%		
小計	未就学	23	6	42	72	80	99	121	111	82	113	145	156	894	1633	54.7%		
	学 齢	23	9	55	92	75	86	68	60	38	63	77	99	646	1816	35.6%		
計		46	15	97	164	155	185	189	171	120	176	222	255	1540	3,449	44.7%		
総計		55	27	121	212	195	223	226	191	153	208	242	276	1853	3,880	47.8%		

## ②訓練等

横浜市から提示されている職員定数まで減員するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながらの運営となった。

理学療法、作業療法、言語聴覚療法については、緊急事態宣言期間の4、5月は継続的に訓練を必要とする利用児（摂食指導や身体的機能の維持等）に制限して実施した。6月以降本格的に訓練を再開したが、訓練ごとに換気、消毒等の時間を設けるなどの感染防止対策を行っており、機能訓練全体としては昨年の65%～70%程度の稼働となっている。

心理療法については、減員のため学齢児の継続支援を絞ったこと、感染防止対策として心理評価（心理検査）については来所によって行い、評価後の継続支援は電話等による方法を原則としたことから前年度を下回る結果となった。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比		
機能訓練	理学療法	未就学	18	0	22	91	118	111	86	101	86	110	93	113	949	1348	70.4%	
		学齢	19	4	26	32	59	65	63	65	59	62	64	66	584	858	68.1%	
	作業療法	未就学	21	0	67	138	110	140	129	138	112	149	133	143	1,280	1674	76.5%	
		学齢	10	1	19	40	43	27	29	26	32	29	34	32	322	527	61.1%	
	言語療法	未就学	10	0	67	106	102	115	102	94	92	84	71	90	933	1619	57.6%	
		学齢	1	0	3	7	10	6	9	5	2	8	0	6	57	316	18.0%	
	聴力検査	未就学	7	0	35	39	42	53	40	22	16	23	16	16	309	358	86.3%	
		学齢	0	0	2	0	0	1	1	2	0	1	0	0	7	12	58.3%	
	合計	未就学	56	0	191	374	372	419	357	355	306	366	313	362	3,471	4,999	69.4%	
		学齢	30	5	50	79	112	99	102	98	93	100	98	104	970	1,713	56.6%	
計		86	5	241	453	484	518	459	453	399	466	411	466	4,441	6,712	66.2%		
心理指導	心理療法	未就学	19	18	65	92	155	180	190	171	101	139	154	129	1,413	2,782	50.8%	
		学齢	8	3	17	42	46	27	23	18	18	13	23	25	263	1004	26.2%	
	(うち心理検査)	未就学	10	7	32	39	48	52	64	39	26	37	34	28	416	428	97.2%	
		学齢	4	0	11	26	13	12	10	9	8	8	10	11	122	149	81.9%	
臨床検査	脳波検査	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	脳波聴検	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
栄養相談	未就学	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	2	3	10	25	40.0%		
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
補装具クリニック		1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	22	24	91.7%		

## ③外来グループ

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言期間中の4、5月は、参集しての活動実施を控え、6月以降は通常の6人から3人のグループにするなど、感染防止対策を講じながらの再開となった。8月以降は、感染防止対策を徹底したうえで、通常の6人グループで実施した。また、肢体不自由児のグループは、医療ケア児等も参加しており、感染リスクが高いことから定期開催のグループ化はせず、「いちご新聞」を発行して保護者とのつながりを継続しながら、3月には対面での集団活動を2回実施した。

〔くろーばー・たんぼぼの通園児童数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数			8	17	35	23	16	11	13	28	31	18	200	383	52%

〔肢体不自由児を対象としたいちごグループの通園児童数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数												16	16	94	17%

## (2) 通園課

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言期間中の4、5月は、クラス運営を休止した。4、5月の実績は利用児家庭への職員による電話での相談、近況の確認等により支援した実績となっている。6月からは児童の通所を再開し、午前・午後で人数を制限した分散型の通所を2週間実施した。6月中旬から段階的に療育日数を増やし、7月から給食の再開、通常人数での療育を開始した。保護者には分散化しての療育参観をお願いするなど通常とは異なる療育の提供となったが、3月まで休園することなく実施することができた。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	福祉型	611	761	985	967	448	896	981	847	713	758	802	669	9,438	9,791	96.4%
	医療型	210	264	342	330	156	312	321	277	233	248	262	219	3,174	3,017	105.2%
	計	821	1,025	1,327	1,297	604	1,208	1,302	1,124	946	1,006	1,064	888	12,612	12,808	98.5%
出席日数 (実績)	福祉型	73	61	451	818	523	733	733	766	642	623	613	567	6,603	8,708	75.8%
	医療型	30	26	142	246	161	222	231	209	193	184	200	191	2,035	2,504	81.3%
	計	103	87	593	1,064	684	955	964	975	835	807	813	758	8,638	11,212	77.0%
出席率	福祉型	11.9%	8.0%	45.8%	84.6%	116.7%	81.8%	81.8%	74.7%	90.4%	90.0%	82.2%	76.4%	70.0%	88.9%	
	医療型	14.3%	9.8%	41.5%	74.5%	103.2%	71.2%	72.0%	75.5%	82.8%	74.2%	76.3%	87.2%	64.1%	83.0%	
	計	12.5%	8.5%	44.7%	82.0%	113.2%	79.1%	74.0%	86.7%	88.3%	80.2%	76.4%	85.4%			
在籍児数	福祉型	68	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67			
	医療型	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28			

## (3) 相談課

### ①相談業務

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言期間中の4、5月は、初回相談を通常の来所面接から、電話による相談に変更して対応した。そのため、面接件数は前年度よりかなり下回っている。6月以降は感染防止対策（面接時のアクリル板の設置等）を行いながら面接の実施を再開したが、来所に不安を持つ利用者には引き続き電話での相談を中心に対応した。コロナ禍にあって、未就学の電話相談件数は前年度を若干上回った。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	150	120	149	109	137	71	158	210	244	244	227	165	1984	1882	105.4%
	学齢	77	60	91	57	95	52	53	87	89	91	59	51	862	1072	80.4%
面接	未就学	42	5	43	63	66	45	45	67	68	94	68	82	688	1218	56.5%
	学齢	9	1	13	6	18	25	13	17	22	21	18	16	179	430	41.6%
文書	未就学	0	4	3	15	17	4	15	38	28	38	2	3	167	399	41.9%
	学齢	0	1	1	6	10	3	3	20	4	15	2	2	67	114	58.8%
合計	未就学	192	129	195	187	220	120	218	315	340	376	297	250	2839	3499	81.1%
	学齢	86	62	105	69	123	80	69	124	115	127	79	69	1108	1616	68.6%

### ②関係機関調整

特に4、5月の緊急事態宣言下における利用者家族の家庭生活の不安や心配事等に対応するため、関係機関との連携・調整のための電話連絡が頻繁になった。コロナ禍で、外出の機会が少なくなった利用者家族に対しては、関係機関に定期的に連絡を入れてもらう等の調整も行った。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	150	91	116	94	97	86	87	155	172	151	117	84	1400	1303	107.4%
	学齢	77	25	53	39	54	39	34	49	74	95	49	53	641	797	80.4%
来所/ 出張	未就学	15	0	1	13	9	28	28	19	19	10	9	6	157	227	69.2%
	学齢	0	0	7	11	3	6	6	2	2	8	4	2	51	120	42.5%
文書	未就学	0	7	0	13	3	0	2	24	13	2	10	5	79	224	35.3%
	学齢	45	3	41	13	16	7	7	16	22	16	1	8	195	183	106.6%
合計	未就学	165	98	117	120	109	114	117	198	204	163	136	95	1636	1754	93.3%
	学齢	122	28	101	63	73	52	47	67	98	119	54	63	887	1100	80.6%
	総計	287	126	218	183	182	166	164	265	302	282	190	158	2523	2854	88.4%

### ③巡回相談

4月から8月まで、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせてきたが、保育園・幼稚園からの巡回相談の要望を受けて、最大限の感染防止対策（訪問時の健康チェック・手指消毒・マスクの着用・着衣の着替え・時間短縮等）を徹底して9月より再開した。前期に巡回できなかつた分、10月、11月に集中したが、1月に2度目の緊急事態宣言となり訪問実施を止めることとなった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育園						0	7	4	0			0	11	49	22.4%
幼稚園						0	38	10	5			1	54	44	122.7%

### ④障害児相談支援事業（利用計画書作成件数）

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、センター以外の児童発達支援事業所の利用自粛などがあり、上半期は前年度比で半数以下の計画相談実績となったが、下半期には新年度からの利用希望があったことから、ほぼ前年度同等の相談実績となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
計画作成	11	0	2	3	4	10	4	8	8	5	219	2	276	325	84.9%
継続計画作成 (モニタリング)		1	4	4	13	10	11	14	15	15	7	13	120	92	130.4%
合計	12	4	6	16	14	21	18	23	23	12	232	15	396	417	95.0%

### ⑤保育所等訪問支援事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4～8月までの訪問実施を控えていた。利用者ニーズから最大限の感染防止対策（訪問時の健康チェック・手指消毒・マスクの着用・着衣の着替え・時間短縮等）を徹底し9月から再開した。しかし、コロナ禍にあつて例年より訪問ニーズは低く、また1月以降は2度目の緊急事態宣言により再び訪問実施を止めることになった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育所等訪問事業						3	2	4	6			1	16	57	28.1%

### ⑥学校支援事業

緊急事態宣言による小学校の一斉休校もあり、開始は6月からとなった。感染防止策から、児童が教室にいる状況での授業参観（コンサルテーション）は極力控え、学校から



の要請により教員向けの研修を中心に実施した。

実支援学校数	15校
延べ訪問件数	27件
内コンサルテーション	10件
研修	17件

#### ⑦地域ニーズ対応事業

##### ア. 保護者のためのこころのケア相談

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業実施を見合わせていたが、9月から再開した。

面接	延6件
電話	0
カンファランス実施回数	15回
カンファ検討ケース数	5件

##### イ. あおばであそぼ（広場事業）

上半期は実施を見合わせた。11月から再開したが、これまでのように自由参加ではなく、事前申込制とし、参加人数も3人～4人程度（保護者付き添いは1名）に制限した。

初診を待機している間や、まだ療育センターを利用することに不安のある保護者の方々に対して、気軽に相談できる場を提供している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
あおばであそぼ	/	/	/	/	/	/	/	4	4	5	3	0	16	91	17.6%

#### (4) こども支援室こだち

##### ①児童発達支援事業所

例年、4月を面談月間とし、5月から療育開始となっているが、緊急事態宣言期間中は療育を休止した。5月から面談を開始して、当初6人クラスから3人ずつ午前午後での療育とし、6月中旬から感染防止対策を徹底したうえで通常療育を再開した。その後は休止することなく、全員3月に療育終了を迎えることができた。

クラス名	登園日数/週	曜日	4歳	5歳	合計	前年度合計	前年度比
かえで①クラス	1日	月		6	6	6	100.0%
かえで②クラス	1日	火		6	6	6	100.0%
かえで③クラス	1日	水		6	6	6	100.0%
かえで④クラス	1日	木	3	3	6	6	100.0%
かえで⑤クラス	1日	火	6		6	6	100.0%
かえで⑥クラス	1日	水		6	6	6	100.0%
かえで⑦クラス	1日	木	6		6	6	100.0%
かえで⑧クラス	1日	金	2	4	6	6	100.0%
合計							

②児童発達支援事業所出席率

例年療育開始月は5月だが、ほぼ1か月遅れでの療育の開始となった。6月以降は、保護者の参観形態を分散化する等、感染防止対策を充分行った上での通常療育を開始した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	0	186	252	264	132	252	186	168	90	180	168	96	1,974	1892	104.3%
出席日数 (実績)	0	31	167	181	140	175	98	149	119	158	145	86	1449	1580	91.7%
出席率	0.0%	16.7%	66.3%	68.6%	106.1%	69.4%	52.7%	88.7%	132.2%	87.8%	86.3%	89.6%	73.4%	83.5%	87.9%
在席児数	0	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48			

(5) 公開講座（あおば講座）

	公開日	テーマ	講師	申込人数	参加人数
第1回	2020/7/3	「きょうだい」のことを考えてみよう	横浜市あんしんマネージャー	中止	中止
第2回(前)	2020/9/25	発達障害を知ろう～こだわりや集団参加の苦手への支援～	医師	15	12
第2回(後)	2020/10/30	発達障害を知ろう～こだわりや集団参加の苦手への支援～	医師	15	13
第3回	2020/11/13	発達障害を知ろう～うっかり（不注意）への支援～	医師	28	27
第4回	2020/12/11	発達障害を知ろう～思春期の自己理解支援～	医師	34	31
第5回	2021/1/21	子どもの足と靴の大切なおはなし	理学療法士	10	10
第6回	2021/2/8	わが子の「宿題」との付き合い方	公認心理士	19	18
第7回	2021/3/4	子どもの「今」を受け止める～「好きなこと」を大切に～	社会福祉法人青丘社 ソーシャルワーカー	18	14

感染拡大防止のため、第2回（前後）、第3回、第4回については、講師はオンラインで講演し、参加者はオンラインと来所を併用して開催した。第5回～7回は、オンラインのみで開催した。

(6) 管理課

職員採用状況

職種	理学療法士	作業療法士	臨床心理士	言語聴覚士	保育士	児童指導員	福祉相談員	医師	看護師	事務員	合計
採用者			1		4		2	1		2	
退職者						1		1	2		

## V たっちほどがや

2020年度は、新型コロナウイルス感染症による影響が施設運営の全般に及んでおり、特に4月7日の「緊急事態宣言」発出後の2か月間は、入所者の買い物やドライブ等の外出制限や生活介護事業及び短期入所事業の利用制限など、多くの利用者にご不便をお掛けした。

入所事業については、6月以降は感染拡大状況に合わせて外出制限を緩和したが、いずみの及び他法人の運営する施設への通所、利用者の買い物の機会提供は中止したままとなった。

短期入所事業については、7枠から8枠に増枠したが、利用自粛や施設側による利用制限によって利用率は低下した。また、感染拡大防止策として、入所開始日から最大7日間の利用とした。

生活介護事業については、利用自粛があったが閉所することなく運営し、外出活動については近隣の公園への散歩程度に留めた。また、活動は2グループ制にすることで利用者及び職員の間隔が保たれるように留意しながら継続した。2021年1月には担当職員1名が感染し、職員5名が濃厚接触者となったことで約2週間閉所することとなった。

いずみの課については、生活介護事業については利用自粛とともに入所利用者の通所利用の中止により利用率は低下した。また、放課後等デイサービス事業については、特別支援学校等の開校状況に合わせて、全日または半日の運営調整を行った。

管理課については、光熱水費の削減やペーパーレス化を徹底するため、適宜、予算の執行状況を職員へ周知した。

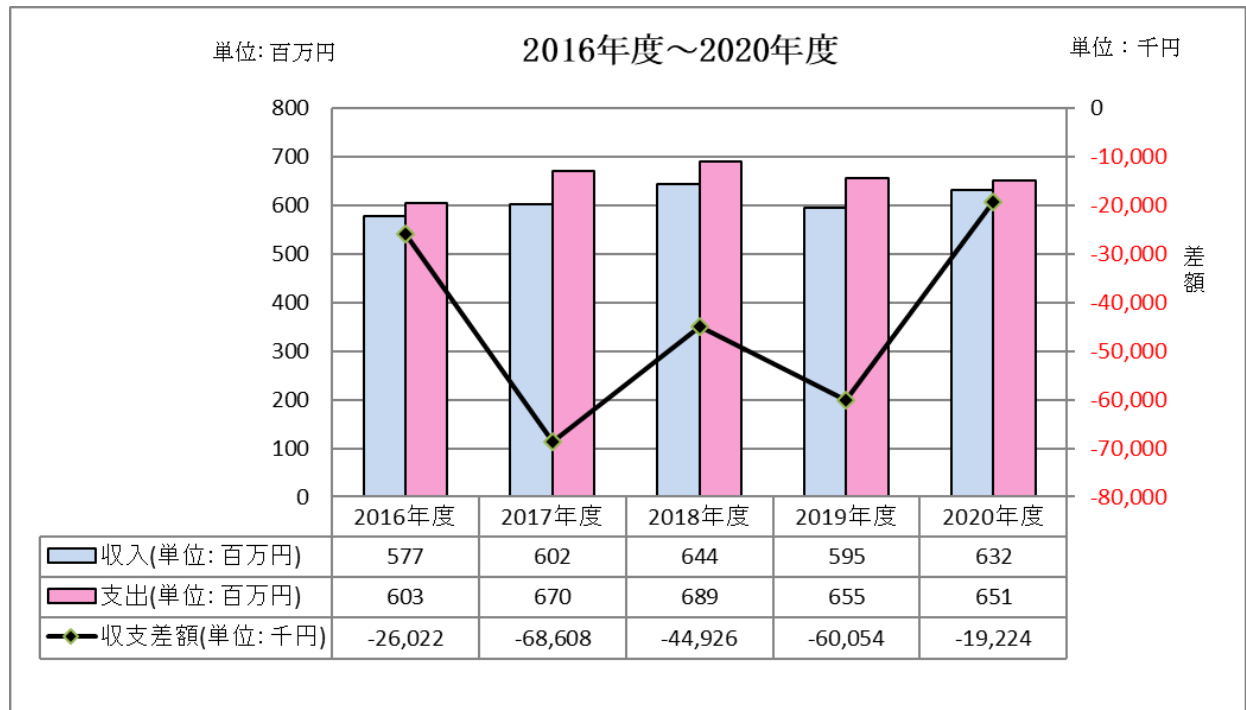
収支については、他法人の通所施設の利用を中止したため、生活介護事業分の収入が確保できた反面、感染症対策費や生活介護事業及び短期入所事業の一定期間の利用中止などにより大幅な収入減となった。

各部署の実績は以下の通りである。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	42.7名/日	40.4名/日	94.6%
短期入所	6.4名/日	6.0名/日	93.8%
生活介護（通所）	22.8名/日	19.5名/日	85.5%
たっちいずみの生活介護（通所）	18.0名/日	15.2名/日	84.4%
たっちいずみの放課後等デイサービス	4.0名/日	3.6名/日	90.0%

## 2 資金収支差額の推移



新型コロナウイルス感染症に関する補助加算があったこと、入所者の他法人の通所施設の利用が中止されたことにより、前年度よりやや増収傾向になっている。

## 3 施設全体の実績

### (1) 施設入所・短期入所 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所 43→42枠	実績数	1,166	1,196	1,199	1,217	1,230	1,203	1,266	1,202	1,274	1,302	1,175	1,302	14,732	15,430	95.5%
	1日平均	38.9	38.6	40.0	39.3	39.7	40.1	40.8	40.1	41.1	42.0	41.9	42.0	40.4	42.2	95.7%
	占床率	90.4	91.9	95.2	93.5	94.5	95.5	97.2	95.4	97.8	100.0	99.9	100.0	95.9	98.0	97.9%
短期入所 7→8枠	実績数	125	54	173	217	196	221	213	198	196	127	161	191	2,072	2,281	90.8%
	1日平均	4.2	1.7	5.8	7.0	6.3	7.4	6.9	6.6	6.3	4.1	5.6	6.2	6.0	6.2	96.8%
	占床率	59.5	21.8	72.1	87.5	79.0	92.1	85.9	82.5	79.0	51.2	69.4	77.0	71.4	89.0	80.2%
合計 50枠	実績数	1,291	1,250	1,372	1,434	1,426	1,424	1,479	1,400	1,470	1,429	1,336	1,493	16,804	17,711	94.9%
	1日平均	43.0	40.3	45.7	46.3	46.0	47.5	47.7	46.7	47.4	46.1	47.7	48.2	46.0	48.4	95.0%
	占床率	86.1	80.6	91.5	92.5	92.0	94.9	95.4	93.3	94.8	92.2	95.4	96.3	92.1	96.8	95.1%

### (2) 計画相談 ※2019年7月事業開始

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規契約件数	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	5	4(1)	
計画更新件数	3	3	2	2	4	3	2	4	6	3	4	6	42	35	120.0%
モニタリング件数	2	7	7	5	5	9	12	6	5	4	5	7	74	73(1)	101.3%
合計	6	10	9	9	9	12	14	10	11	7	10	14	121	112	108.0%

( ) 内は児童

(3) ほどがや 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	408	378	457	433	407	415	440	390	405	179	369	452	4,733	5,152	91.9%
1日平均	19.4	21.0	20.8	18.8	19.4	18.9	20	19.8	23.4	19	19.3	18.3	19.5	20.0	97.5%

(4) いずみの 生活介護 「和音」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	330	305	356	311	290	300	334	287	295	290	269	335	3,702	3,707	99.9%
1日平均	15.7	16.9	16.2	14.8	14.5	15.0	15.2	15.1	14.8	15.3	14.9	14.6	15.2	15.4	98.7%

(5) いずみの 放課後等デイサービス 「りずむ」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	64	70	79	75	70	69	70	71	75	72	69	87	871	948	91.9%
1日平均	3.0	3.9	3.6	3.6	3.5	3.5	3.2	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	4.0	90.0%

(6) 地域交流

①ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	1	1	1	2	2	3	2	3	2	1	0	1	19	117	16.24%
活動延べ回数	23	17	17	10	13	25	22	15	21	1	0	2	166	155	107.10%

②ボランティア活動内容

月	行事内容	参加者
4～12月, 3月	施設外回りの清掃・環境整備	1名
7月～1月	利用者の個別散歩(付き添い)	1名
9月, 11月	美容ボランティア	1名

3 各部署の報告

(1) 入所支援課

利用者の高齢化と重度化が進み、入院件数が増加している。また、1年間で5名の方が逝去され、新規の方を4名受け入れた。逝去された5名のうち1名は措置の方であったため、1枠は短期入所枠に変更し、短期入所枠は8名となった。2名の方が胃ろう造設を行い、胃ろう者は5名となった。吸引が必要な方も増えており、医療ケアの職員研修を随時実施し、資格取得をおこなった。医療体制としては、配置医師が月2回の往診を行っている。昨年3月から始めた看護師のオンコール体制は定着した。

活動面はコロナ禍の中、自粛することが多かった。外出は状況を見ながらドライブのみ実施したが、2021年1月の緊急事態宣言以降は実施していない。年中行事として夏祭り、クリスマス会、新年会をユニットごとに実施した。

また、昨年3月に予定していた10周年記念行事は、外部の方の招待を控えて、家族会からの寄付金を活用してユニットごとに企画実施した。他法人の通所施設の利用は通年を通して中止となった。



お花見散歩



夏祭り



10周年記念イベント

## (2) 在宅・通所支援課

### ①短期入所

8月には、短期入所枠を7枠から8枠に増枠した。定期的に短期入所を利用されていた方も緊急事態宣言の発出を受け利用を控える方が多く、6月まで利用件数は減少した。また、1月には通所職員が新型コロナウイルス感染症に罹患し、短期入所の利用を停止したため、利用件数は3月まで減少した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	57	53	48	45	39	47	47	47	44	38	49	45	559	656	85.2%
利用件数	19	7	31	38	33	40	40	36	38	16	27	29	354	444	79.7%
利用不可※	38	46	17	7	6	7	7	11	6	22	22	16	205	156	131.4%

※利用不可は、満床等及び新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルやお断りが発生し、入所利用ができなかった件数

### ②計画相談

6月、横浜療育医療センターからたちほどがやへの指定特定相談支援事業所の移行が終了し、2021年3月時点で、64件（内4件は児童）の利用者数となった。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により家庭訪問や面談を行うことができず、電話連絡や書類送付による対応をした。また、他事業所との対面の会議は避けて、リモート会議等によって対応した。

### ③生活介護

2021年1月上旬に職員が新型コロナウイルス感染症に罹患し、約2週間の閉所となった。

他法人の通所施設を併用利用されている方が多いため、併用利用先の感染状況に配慮しながら慎重な事業運営を心掛けた。外出活動は近隣の公園への散歩に限って実施した。また、ボランティアの受入を中止した。感染拡大防止対策として、接触する利用者及び職員を制限するため、活動体制を2グループ制にしたため、利用者が活動内容を選択することができなくなった。今後、自己選択が可能な活動体制を検討する。



還暦のお祝い



クリスマスコンサート



ボーリング

(3) いずみの課

①生活介護

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、たちほどがや入所者の利用を中止した。また、在宅利用者は自粛する人が多く、日々の利用者が少ない日が続いた。職員数が欠員状態であったため、通常業務と消毒作業などの感染防止対策が重なり、職員の疲労度が増したものと見られる。

②放課後等デイサービス

新型コロナウイルス感染症の影響から、学校の休業日や短縮授業が多く、日々の対応に職員は困惑した。

学校再開後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、利用者及びその家族ともに落ち着かない日々が続いた。



新人歓迎会



水遊び



ハロウィン

(4) 管理課

職員採用状況

職種	生活支援員	看護師	相談員	運転員		合計
採用者	11	5		3		19
退職者	9	2	1			12

新型コロナウイルス感染症に係る神奈川県及び横浜市の助成により、感染対策に必要な衛生材料や機器等を購入した。

建物設備については、設計業者及び設備業者によって現場調査を実施し、建物修繕や設備更新等の概算費用を算出し、優先順位を付けて修繕計画を作成した。